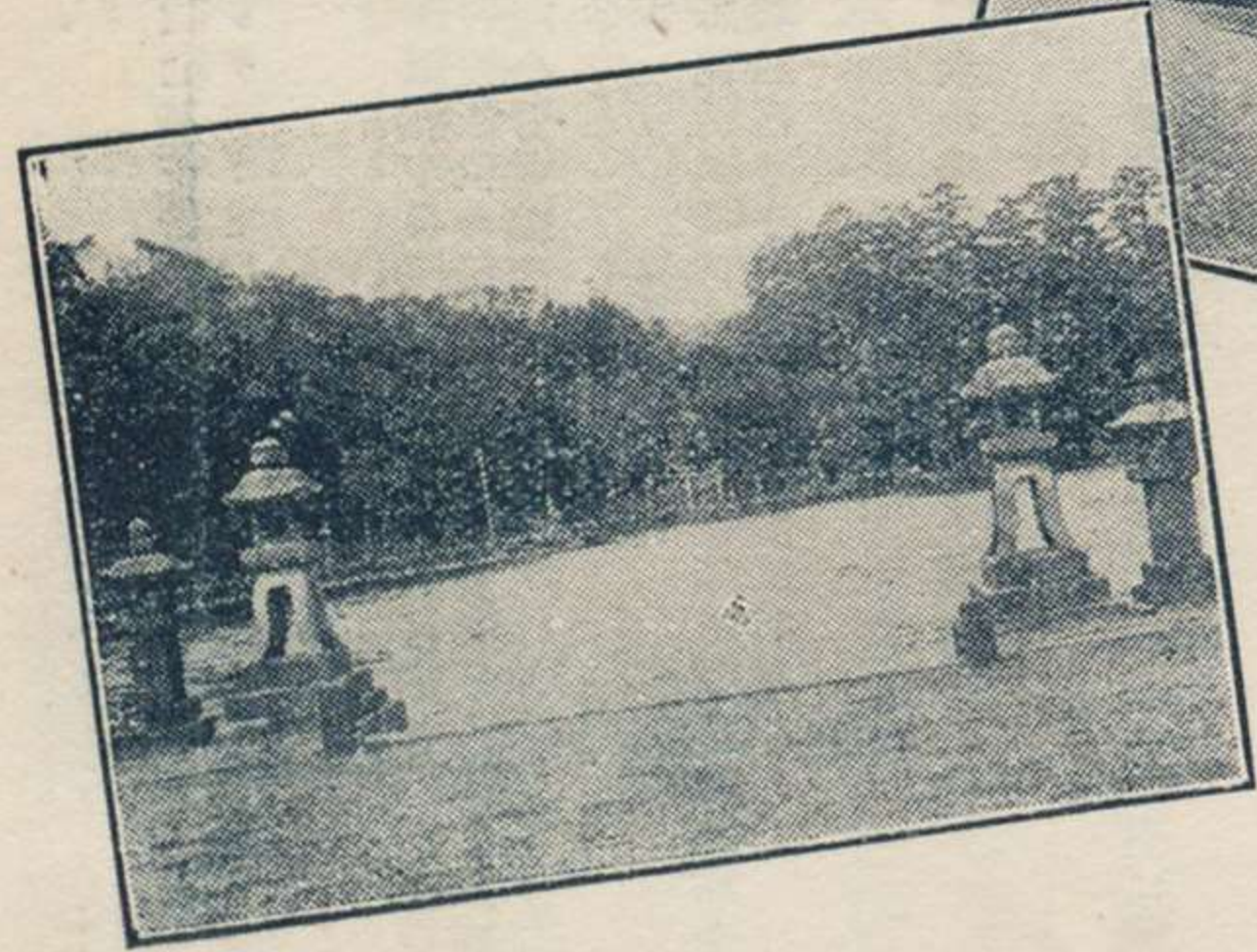
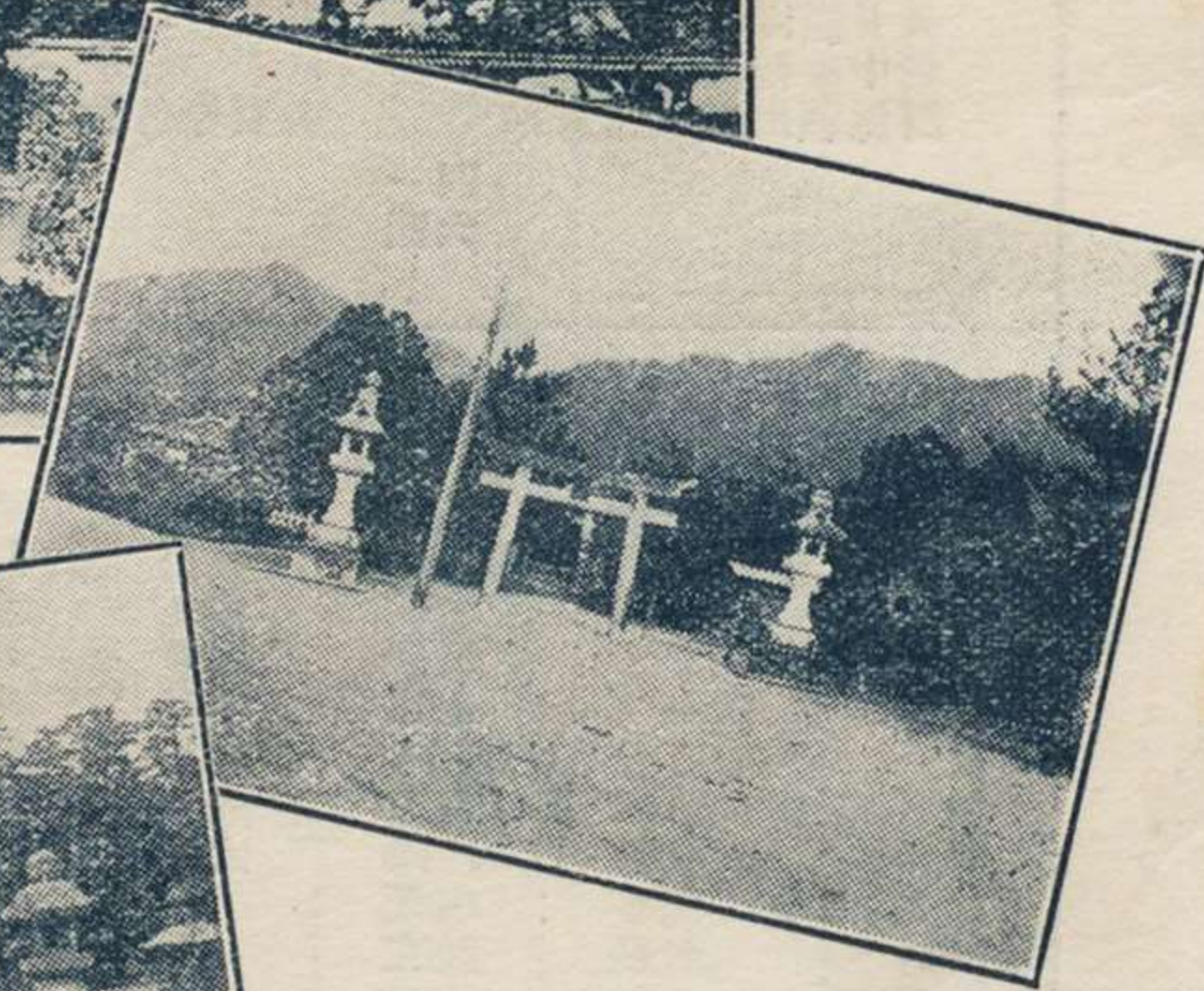
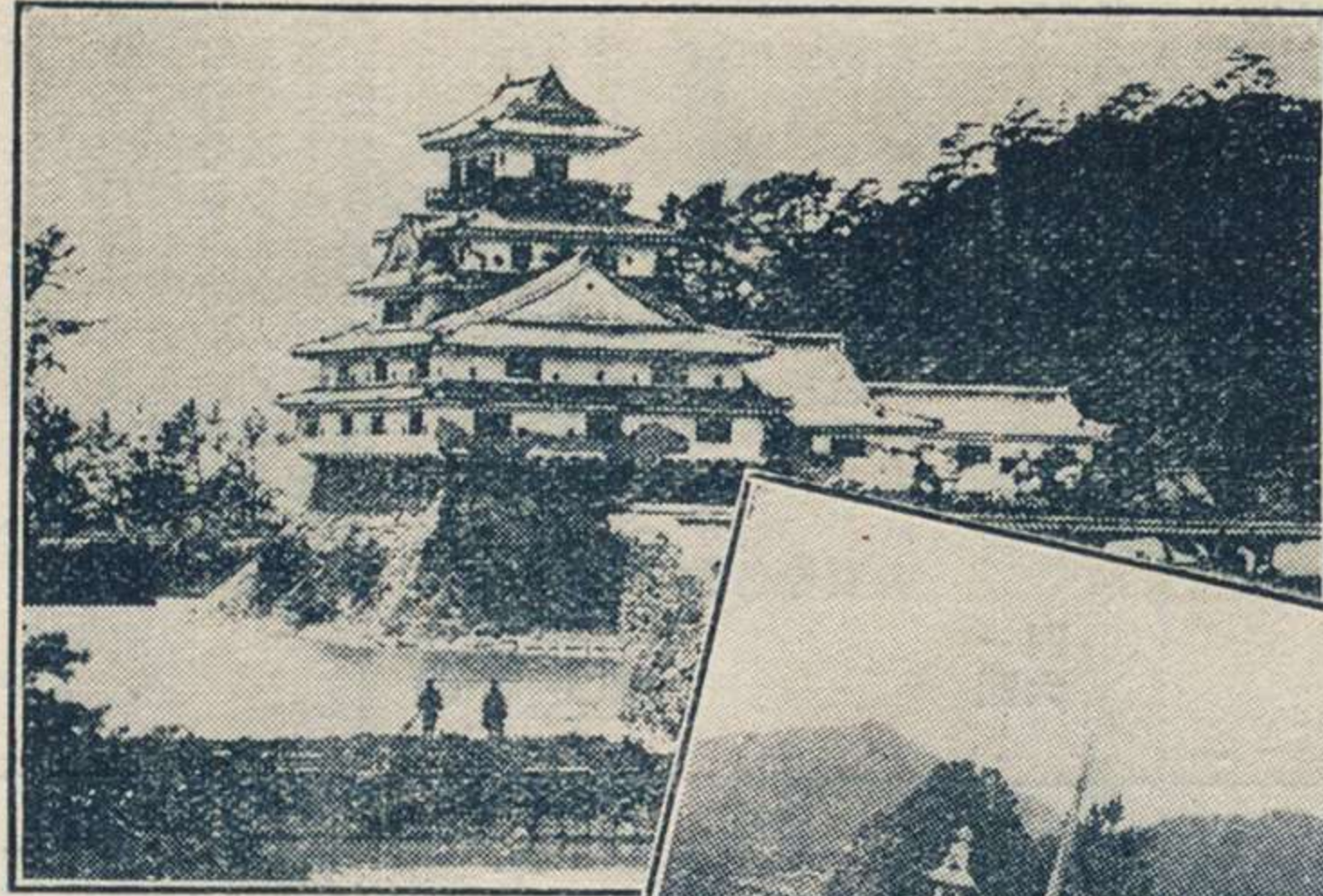


報月萩

號一十二第



號月二十年四和昭



行發町萩縣口山

補由良艦長
正七位 玉置 一
叙從六位 正二位勳一等公爵 徳川家達
日本赤十字社長被仰付 正六位 栗屋春太郎
叙從五位 從七位 福川秀夫
叙正七位 正四位子爵 岡澤精一
叙從三位 從五位勳六等 岩田博藏
叙正五位 地方農林技師 河野光三
陸して高等官四等を以て待遇せらる 正七位勳五等 柿並修三
叙從六位 石原忠亮
叙從七位 從六位 筒井捨次郎

叙正六位 叙正六位 栗屋周祐
正七位 從七位 河野通毅
叙從六位 全 柴田省三
叙正七位 正七位勳六等 下村福治
叙從六位 叙從六位 伊藤清忠
正七位勳六等

◎文部大臣更迭
從四位勳二等 田中隆三
任文部大臣 文部大臣 小橋一太
依頼免本官 (以上十一月二十九日付)

十一月月中發令の主要法令

●國の法規

- ◎勅令第三百二十三號(十一月十四日)
兵役義務者及廢兵待遇審議會官制を公布せらる
- ◎文部省令第四十四號(十一月十五日)
商業學校規程中改正の件
- ◎文部省令第四十八號(十一月十五日)
公立私立實業學校教員資格に關する規程中改正の件
- ◎勅令第三百二十九號(十一月二十日)
資源調査令公布
- ◎勅令第三百三十五號(十一月二十九日)
昭和三年勅令第二十二號米穀法第二條の規定に依る米及粃の輸入制限に關する件
昭和四年十月三十一日を昭和五年十二月三十一日に改正の件
- ◎内務省令第四十一號(十一月三十日)
港灣資源調査規則
(同規則第四條に依り萩港を調査區域港に指定せらる)

◎大藏省令第二十七號(十一月二十一日)
左の大藏省令は之を廢止す
大正六年大藏省令第二十六號(銀貨幣又は銀地金輸出取締等に關する件)
大正六年大藏省令第二十八號(金貨幣又は金地金輸出取締等に關する件)
大正七年大藏省令第三十八號(金若は銀を王たる材料とする製品又は金若は銀の合金輸出取締に關する件)

附則
本會は昭和五年一月十一日より之を施行す
(參照)
大正六年九月六日大藏省令第二十六號
銀貨幣又は銀地金を輸出せむとする者は大藏大臣の許可を受くべし但し外國に旅行する者銀貨幣五十圓未満を携帯する場合は此の限に在らず
前項の規定に違反する者は三月以下の懲役又は百圓以下の罰金に處す
地金として販賣し又は使用する目的を以て銀貨幣

を蒐集鑄潰又は毀傷したる者の罪又前項に同じ
 大正六年九月十二日大藏省令第二十八號
 金貨幣又は金地金を輸出せむとする者は大藏大臣
 の許可を受くべし但し外國に旅行する者金貨幣百
 圓未満を携帯する場合は此の限に在らず
 前項の規定に違反する者は三月以下の懲役又は百
 圓以下の罰金に處す
 地金として販賣し又は使用する目的を以て金貨幣
 を蒐集鑄潰又は毀傷したる者の罰亦前項に同じ
 大正七年八月二十六日大藏省令第三十八號
 金若は銀を主たる材料とする製品又若は銀の合金
 を輸出せむとする者は大藏大臣の許可を受くべし
 前項の規程に違反したる者は三月以下の懲役又は
 百圓以下の罰金に處す

◎ 縣の法規

◎ 山口縣訓令第二十六號(十一月八日)
 學校醫、幼稚園醫及青年訓練所醫設置手續の件

◎ 萩町告示の主なるもの

一、町會議員選舉人名簿縦覽の件

一、衆議院議員選舉人名簿縦覽の件
 一、昭和四年度萩町陪審員候補者當選の件
 一、荷車輪帶幅の件(別掲)

一、町會議員選舉人名簿に關する異議申立決定の件
 一、町會議員選舉人名簿修正の件
 一、衆議院議員選舉人名簿修正の件

◎ 萩町告示第百二十四號

大正九年十二月内務省令第四十五號道路取締令第
 十二條及大正十一年十二月山口縣令第五十五號第
 十一條に依り荷車輪帶幅を左記の通制限し昭和五
 年一月一日より之を實施せらるゝに付諸車を所有
 する者にして違犯者を生ぜざる様今より注意せら
 るべし

記

一、馬車 三寸以上
 四輪車にありては其の前輪を後輪の二分の一に縮
 小することを得
 二、小車 (普通車力)
 荷台の面積十八平方尺未満のものは一寸以上、彈
 條を有するものに在りては八分以上

◎ 國債償還献金者

一金壹百圓也 萩町大字江向 大藤 スミ
 右金額は平素に於て貯金せしもの
 一金四拾圓也 私立萩婦人會修善女學校生徒一同
 右金額は生徒一同の勞力奉仕に依りて收得したる
 もの
 一金參拾圓也 萩町藤表工業組合員一同
 右金額は會員一同の勞力奉仕に依りて收得したる
 もの

以上は今回林萩町長に對し國債償還献金として申出
 ありたるものに付直に其筋へ献金の手續を了したり

◎ 木間部落を視察して

感じたこと

萩町の内木間部落は鬱蒼たる森林地帯を占めて居る
 ことよりして往昔より萩の寶庫と稱へられ總計百十
 戸の往家は東西北の相隔絶せる方面に存在せる關係
 上之を東木間西木間北木間の三行政區に分たれ其の

各區に區長役場を置かれてある不肖は昨年來此の寶
 庫の視察を計劃して居つたが何分にも萩町の中心地
 より三里以上を経てゝある爲泊り懸けでなければ詳
 細なる觀察を遂ぐる事が出来ぬ彼は只様延び／＼
 になり區民諸氏に對しても申譯なき程であつた幸に
 寸暇を得過る十一月二十三日の新嘗祭日を引當てる
 ことゝし二十二日午後出發同夜は木間小學校に於て
 自治懇談會を催ふし翌二十三日には東木間を経て樺
 區の内河内に通する道路を踏査し歸廳することゝし
 た

二十二日は初雪を見初めた荒天氣であつたが幸に雨
 模様もなく夕方小學校に着先以て新設の圖書館を參
 觀した館内の圖書も大部分特志者の寄附に依り相當
 の冊數に達し兒童及青年の讀物も少くない又巡回書
 庫も可なり活動して居るようである午後七時より開
 催の自治懇談會には會する者戸主青年を通し七十餘
 名に達し不肖は例に依り會集一同に對し愛郷心を喚
 起せしむる爲圖式を以て萩の現勢及將來を物語り延
 ひて木間全區を開發するに付ては現在の米麥作森林
 の造成木炭の製造及畜牛の改良の外に第一期計劃と

して養蠶の普及と孟宗竹林を盛んにし之に依り筍の罐詰製造を試みることに更に第二期計劃としては自然の氣温と肥沃せる土地主として閑地を利用し適地を選定して蒟蒻及山葵の栽培を爲すことを奨励して置いた

木間の地勢を約言すれば萩町に於ける高原と申すのが適當であると思ふ海拔六百尺以上の高地であるが溪流に沿ひ廣潤なる平野を有し殊に本縣は各地とも早魃に苦んだに拘らず水田として毫も早害に罹らぬ程用水に富んで居るから森林としても其の生育著しきを認め得るのである到る處水量も豊富であり又附近の雜木林を縫ふて黄櫨其の他の紅葉樹が強が上にも其の色濃きを競ひ恰かも山紅水清に醉はざるを得なかつた此の地に祖先の墳墓を守つて居る區民諸子は如何にも神身爽快の裡に現し世の苦しみをも知らず賓庫であり且仙境であることを覺へしめた吉岡町會議員其の他の有志は木間全區には未だ電燈の設備が無いので困ると聞かされたが如斯豊富なる自然の溪流を持つて居るから縣電が詮議六ヶ敷とあれば區の事業として水力に依り發電の計劃を爲したら如何

と申したのである

萩町程自然に恵まれたる處もないが又木間部落の如きは就中最も恵まれたる土地柄と言はねばならぬ此の恩恵を忘れ山間の僻地とか何とか言はるゝことは將來慎みて貰ひたいと思ふ全區五百餘人の老若男女の人達が協同一致して木間の開發を策するとなれば驚くべき收穫のあることは智者を俟つて知るべきものではないことを保證する前段に申述べた通現在の主業副業の外に不肖の考案に依る第一期第二期の計劃を實行する曉に於ては米作で四千俵を收穫する以上副業に依り遺利を收得することは敢て難事とは思はれない冀くは青年團の教養方針に於ても右の如くに劃期的に産業振興の方途を定むることに深甚なる考慮を拂はれ而して出來得べくは一戸平均年生産額を千圓以上とし全部落を通し年收拾壹萬圓を收入する様目標を定め勇往邁進して貰ひたい

孟宗竹林の造成及蒟蒻玉山葵の栽培のことを申した如何に氣候風土に適して居つても先進地に就き實況を見學調査する必要がある竹林に付ては厚狹郡の王喜村蒟蒻玉と山葵に付ては玖珂郡の廣瀨村(岩國

より十里の奥地に在れども岩國廣瀨間には定期自動車(あり)を指摘したい丁度木間を視察したる翌日江木鐵相の歡迎會に出席する爲山口市に到り廣瀨村出身の堀江縣會議員に會ふたから話の序に聞いた處蒟蒻玉は遂に好景氣に向い此頃十貫目五圓以上山葵は恰かも魚類相場の如く値段の不同甚しく此節は著しく下落し大阪着十貫目四十五圓を以て取引中とのことであつた青年諸子は早速實業視察に出掛くることを勧めて置く

終りに一言申して見たいことは木間平野の水田の中には素人眼からしても有機質性の缺乏して居るものが少くない様である果せるかな近時に於ては厩肥堆肥を用ゆる割合に石灰の使用量が増加して來たことこの這は畜牛の生産を以て誇る木間部落として不可思議千萬のこと、言はねばならぬ石灰を使ふのも良いが夫れに相應する丈けの荒肥を施し畢竟する所即効薬よりは先以て殖土に滋養を與へて米麥其の他の増收を計ることに留意して貰ひたい

二十三日は東木間の有志と共に殿河内より野土路を経て河内區に至る道路を踏査した木間全体としての

理想の道路は野土路より分岐し後藤と言ふ所に出で山田區に至るのであるが是は十萬金を要し此處當分の間は改修の見込は立たぬが前述の路線に在りては改修を要する區間僅かに三十町餘に過ぎず而も土地平坦にして差したる工費を要せず關係部落の企業として之を營めは至極結構のことであると思ふ

道路線踏査の途中東木間の雜堅と言ふ所に山縣卯助氏を訪ふ同氏は木間開發の先覺者と認めらるゝ程所謂多角形主義を以て農業を經營さるゝ特志家である殊更目立つて感心されたのは邸宅背面の山地を開墾して孟宗竹林を仕立て其の中に多數の卵鶏を放養して居らるゝ如きは産業の合理化とも言ふべきである又事柄は變つて居るが休憩中表座敷を窺ふ處床間には村田清風翁の揮毫された額面と掛軸とを掲げて居られたから聞いて見ると同家とは故き親族の間柄であつて村田靜翁先生も當て山縣山莊を訪ねられたることである途中同氏の邸宅に敬意を表したのも偶然でなかつたことを喜むだ(林町長)

◎江木鐵道大臣歡迎會

十一月二十四日午後六時山口市公會堂に於て官民合同の江木鐵道大臣歡迎會開催に付萩町よりは林町長の外末永、村木、時山、堀、兒玉の五町會議員其の他の有志者出席せり

萩町立木間小學校に奉安庫壹個寄附

萩町大字山田在吳市 古谷 スミ

萩町立木間小學校圖書館設備費並圖書購入費の内へ金壹百圓寄附

萩町大字山田在奉天 堀 磯右衛門

右 同

萩町大字椿東 村木 コウ

萩町立椿東小學校備品費の内へ金貳百圓寄附

萩町大字椿 山本 クマ

萩町社會事業費積立金の内へ金壹百圓寄附

萩町大字南片河町 金森 ユリ

萩町兒童就學獎勵基金の内へ金參百圓寄附

東京市 公爵 山縣 有 道

萩町々費の内へ金參百圓寄附

公爵 山縣 有 道

旌 表

◎褒 狀

褒章條例により十一月三十日本縣知事より左記の諸氏に對し夫々褒狀を下付せらる。

萩町大字山田 長屋權治郎

學 事

◎小學校教員免許狀下附

今回山口縣より萩町在住の左記三名に對し何れも尋

常小學校准教員免許狀を下附されたり

岡 正彦 原田照子 森屋滿壽子

の名稱を萩町聯合女子青年團と改稱せり

◎萩町各青年訓練所教練查閱

昭和四年度山口聯隊區に於て施行さるへ萩町各青年訓練所の查閱日時場所其の他左の如し

一、查閱官 陸軍歩兵中佐 増田久猛氏

◎萩町聯合處女會を改稱

十月一日より山口縣處女會を山口縣女子青年團と改稱せられたるを以て萩町聯合處女會に於ても今回其

查 閱 日 時

山田、木間青年訓練所

十二月十八日午後二時

明倫青年訓練所

十二月十九日午前八時三十分

椿 青 年 訓 練 所

同 日午後一時三十分

椿東青年訓練所

十二月二十日午前八時三十分

越ヶ濱青年訓練所

同 日午後一時三十分

查 閱 場 所

山田青年訓練所

明倫青年訓練所

椿 青 年 訓 練 所

椿東青年訓練所

越ヶ濱青年訓練所

◎明倫校保護者會

本校に於ては學校と家庭との連絡を計る爲毎年第二學期中保護者會を開催するを例とす本年は十一月二十二三兩日に之を行ふ當日は午前九時より一時間授業參觀それより校長の講話に引續き各學級に於ける

擔當教員との懇談に移り正午隨時解散せり尙當日出席し難き保護者の爲二十九三十兩日第二回保護者會を開催し此兩會に於ける保護者の出席數二千四百十一年如斯出席率の増加するに至れるは教育に對する一般保護者の熱心と理解多きに原因するものにして誠

に喜ぶべき傾向なりとす

●明倫校の体育週間

本校は児童体力の向上を計る目的のもとに十一月二日より九日までを体育週間と定め此の期間中左記の行事を行へり

- 一、特別大掃除
 - 二、全児童の競技テスト測定
 - 三、全児童の身体検査
 - 四、登山遠足
 - 尋一 松陰誕生地、 尋二 南明寺、尋三 鷲尾権現、 尋四五 七曲り、 尋六以上 田床山
- 十一月七日雨天の爲同十四日に延期実施せり

●萩町各青年訓練所生徒

聯合演習

十二月二十七日大井村附近に於て奈古大井兩村青年訓練所生徒及萩町各青年訓練所生徒の聯合演習を行

ふ爲明倫青年訓練所指導員二階大尉統監の下に東軍奈古大井は松村少尉の西軍萩町は羽鳥少尉の指揮に依り左記の如く實施せり
當日萩町各青年訓練所生徒の參加總數一三一名にして午前八時明倫小學校々庭に集合午前九時過出發大井村に向ひ十一時半頃大井村到着と同時に鐵道線路を挟むで兩軍對峙し十二時半演習を終了し大井小學校々庭に於て多數來賓の閱兵を受け分列式を行ひ次て統監二階大尉の講評岡田少將藤村大佐の訓話あり晝食後銃器の手入を爲し午後三時半大井村出發歸途に就き六時過解散せり
因に當日は岡田少將各在郷軍人分會長吉田萩商校長外多數來賓參加の下に豫期以上の成果を齎すことを得たり

●青年記念日の擧式

本年四月第五回大日本聯合青年團大會に於ける議決に基き十一月二十七日午前九時明倫小學校々庭に於て萩町聯合青年團として青年記念日の式を擧行せり

閉式後團員は藤村團長指揮の下に青年訓練所生徒の演習見學並別項に記載の遠足會に参加せり

●萩町聯合青年團員遠足

十一月二十七日實施の奈古、大井、萩三青年訓練所對抗演習見學を兼ね萩町聯合青年團員の遠足會を施行せり參加青年團員三十名にして午前九時過明倫小學校々庭を出發正午頃大井村に到着晝食を喫し午後五時三十分萩町に歸着せり

●椿東女子青年團教化動員 實施事項

- 一、早起を勵行すること
- 二、毎朝 皇太神宮 宮城の遙拜を爲すこと
- 三、祝祭日には國旗の掲揚を勵行すること
- 四、成るべく外國品を使用することなく國産品を愛用すること
- 五、成るべく副業(手袋の仕上げ等)を勵行すること

六、結婚式の服裝調度は簡素を旨とし出來得るだけ必要品に止むること

◎同上十一月中例會

十一月三十日午後一時より松陰神社記念館の掃除を爲し三時より例會を開く
行事

- 一、淺野副團長より開會の挨拶ありて河村團長訓話(教化動員實施事項勵行、山口に於ける縣下の男女青年團總會の狀況等)あり
- 二、化粧品製法 田淵訓導より簡易化粧品製法の實驗指導あり
- 三、協議 染色講習會開催に關する件其の他一二件を協議せり

●成人講座開設豫定

明年一月十日より二月上旬に亘り萩商業學校に於て文部省山口縣及萩町聯合主催の成人講座を開設の豫定なり科目は公民科實業科の二科聽講者は年齢二十歳以上の高等小學校卒業程度の男子とし毎週月水金

夜間午後七時開始の三時間を講生の時間と爲す尙聴講者に對しては文部省より修了證書を交付さるゝ筈なり

●明倫校來校視察者

十一月中に於ける來校視察者左の如し
廣島縣師範學校專攻科生五十名。東京市淺草山谷堀小學校長本田小一。大分縣宇佐郡宇佐小學校長都留壽雄外二十名。東京市千駄木小學校教員一名。山口高等女學校教員生駒貞三外生徒三十名。海外興業株式會社々長井上雅三外三名。山口市第二小學校教員秋本榮治外生徒約八十名。防府高等女學校教員森國市治郎外同窓生二十一名。北海道函館市柏野小學校長大山虎松。山口師範學校長島田民治。山形縣自治講習所長面垣喜代治外生徒三十名。神奈川縣中郡會屋小學校教員原正雄。下關市關西小學校長若鶴勉外教員兒童約二百名。山口縣女子師範學校教員林正子外二部生四十名。若松市古前小學校長石松伴次郎外教員十三名。山口師範學校教員館林寛吾、小谷巨三

郎外專攻科生二十三名。吉敷郡宮野補習學校長三好孫一外生徒二十二名。福岡縣山門郡山川西武小學校教員三名。熊本郡女教員石丸アヤセ外六名。厚狹高等女學校教員藤津榮一。深川高等女學校教員宇田芳雄。都濃郡中須小學校教員爲久恒介。香川縣坂出中央小學校教員嶋田隆平外二名

●故山縣伊三郎公爵傳記

編纂

故山縣伊三郎公爵の傳記は徳富蘇峯氏に依り編纂中の處今回完成し夫々關係の筋に配布せられたり

産

業

●穀物検査證紙賣捌所設置

萩町内の穀物検査收入證紙は左記區長役場に於て賣捌くこととなり其の期間は昭和五年二月末日迄とす
中津江。舟津。中ノ倉第二區。香川津東區。前小

●萩町立工業傳習所狀況

- 一、十一月四日 鹿兒嶋縣立第一中學校教諭崎山格氏當町製作品視察の爲來所
- 一、十一月十四日 大連輸入組合より投入花籠。一輪花籠。座敷用紙屑籠等九拾點の注文を受く
- 一、十一月十八日 大連輸入組合より木製玩具拾種類四拾貳點の注文を受く
- 一、十一月二十五日 輸入組合員大正洋行及小泉商店の注文品を發送す
- 一、十一月二十六日 河村技手世木助手及傳習生拾名山口市に於て開催の山口縣副業共進會を視察す
- 一、十一月二十七日 北鮮雄基松尾商店より蒲鉾の筥卷用竹筥其の他の注文を受く

●山口縣副業共進會狀況

山口市に於て開催の副業共進會は十一月二十二日開

畑。後小畑。冲原。大谷。濁淵。北木間。山田第二區。奥玉江第一區。倉江。川島第一區。土原第二區。河添第一區區長役場

●大谷農事組合設立

十一月一日午後五時大谷區公會堂に於て大谷農事組合發會式を舉行左記役員を選挙し全七時散會せり

組合長 大谷福藏 副組合長 河野熊市
理事 齋藤幸藏 幹事 吉田吾市

●防長木炭同業組合

代議員萩町選舉委員選舉

十月三十一日萩町役場に於て防長木炭同業組合代議員選舉委員の選舉を執行左記の者當選せり

柴田八五郎 刀根徳助 山平信一 大田民松
原 久治

場以來參觀者一万五千人を突破し二十七日盛會裡に褒賞授與式を舉行せり會期中に於ける主なる行事は二十四日副業組合大會、二十五日蠶業大會、二十六日山口縣山林會通常總合及第二回造林品評會の褒賞授與式等にして右共進會に出品し入賞したるもの左記の通多數に亘り其の成績は出品者各位の努力に依り最も可良吾萩町として大に面目を施したる次第なり

副業共進會入賞者

一等賞 ▲白菜 土原原田藤右工門 ▲蓮根 江向堀上
利三郎 ▲割箸 萩割箸工業組合 ▲玩具 新川沖見爲
吉 ▲桂掛 町立工業傳習所河村猛 計五點
二等賞 ▲杉磨丸太 冲原田村義行 ▲玩具 新川谷田
龜行 ▲杉割箸 椎原貞本豊重 ▲傘骨 萩町立工業傳
習所新川分場 ▲竹箸 新川倉増喜一 ▲花生筒 町立
工業傳習所阿武繁一 ▲木炭 山田山根龜槌 ▲木炭
山田山根一助 ▲炭俵 木間村田タカラ ▲杉苗木 青
海藤田義一 ▲籐表 塩屋町大賀キク 計一點
三等賞 ▲柿 堀内石津彦之進 ▲大根 古萩廣石助次
郎 ▲白菜 霧口中原繁一 ▲米叭 木間小坪チヨノ ▲

紫雲英種子 椿信用組合 ▲繭 霧口中原繁一 ▲蜂蜜
椿田中太郎吉 ▲下駄台 北古萩泉屋勝一 ▲經木眞田
河添山縣アイコ ▲桑の木盆 河岸端寺田忠平 ▲玩具
新川沖見博 ▲磯籠 松本吉田俊一 ▲花籠 町立工業
傳習所世木博友 ▲竹筴 新川倉橋榮 ▲竹筴 新川林
介治郎 ▲竹筴 新川中村與右衛門 ▲花籠 奥玉江山
縣德男 ▲傘骨 土原村上正一 ▲傘 江向伊藤恒亮 ▲
杉苗木 山田來島長槌 ▲籐表 江向山本タキ ▲橙皮
盃 無田ヶ原大林ウメ ▲玩具 新川池部隆義 ▲玩具
新川池田彌作 ▲竹箸 木間弘中正人 計二十五點
四等賞 苗木夏橙外二十九點
總計七十一點

第二回造林品評會入賞者

一等賞 若竹林 縣社椿八幡宮
二等賞 若竹林 椿區 田村源太郎
三等賞 肉牛種鶏共進會入賞者
四等賞 白色レグホーン種 平安古 尾崎孫一

◎副業共進會に一等賞

副業に依り商品化する松下箸
割箸工業組合幹部の苦心の跡

松下箸！既に萩町特産品として知られたる松下箸は昭和三年三月創立を見たる萩割箸工業組合組合員三十名に依り商品化したものである。組合は萩町附近の杉材を共同購入をなし之を組合員に配布し製造せしめて居る製品は毎月日を定め役員立會し検査して受取り更に組合員に袋と共に渡袋入をなさしめ消毒の上販賣して居る。組合員には萩町に現住する者は誰でも加入出来るが組合員永續のため組合の株を一株以上を持たすこととして居る此の株金は五圓で組合脱退の時還附することは勿論である、箸を作る事の出来ぬ人は袋張り、袋入り等老人婦女子誰にも出来る作業がある勤勞の美風養成には最も適したる副業である。萩町に於ける割箸の需要は非常なる數に達し年々増加して居るが町内で松下箸が出来る事が一般に知れぬ關係が優良なる松下箸を購入せず却つて臭氣

ある機械箸を購入使用する者の多きは實に遺憾である

萩町で使用するものは先づ町内で出来るものを使用し他所より移入せぬ習慣をつくる事が急務である

松下箸は組合創立後二ケ年に足らぬが今回の一等入賞の外昨年當地で開催の副業展覽會の二等賞一府六縣林産共進會の三等賞中國四國副業共進會の四等賞等出品する毎に入賞して居るが一面是迄にならぬには幹部の犠牲的努力に依る事が力をなして居る

組合役員は月に二回以上集會をなし製品の検査販賣方法等に就て研究を怠らない今回の入賞に依り意を強くして居ることであらう。組合では今一度製箸講習會を催し上等製箸の製造に努め包装の意匠を改良し大々の發展策を講ずべく意氣込んで居る

◎笠山に桑園設置

萩町の養蠶業發展に資する爲桑園の開拓を奨励しつ

あり現在約三十町歩の桑園を有し更に今回越ヶ濱區都野豊之進氏の所有地なる笠山の一部を相し約三町歩の桑園を設置することとなり之が實地指導の爲大谷町技手を派遣せり

●朝鮮の産業視察

山口縣囑託視察員 萩商工會理事 村田善次郎

視察の動機。今回の視察に際し朝鮮を希望したるは本縣は朝鮮に最も接近せる關係上貿易に至便なると縣人の多數が在留自營せることに原因せり。

釜山。九月二十五日午前萩町を出發翌二十六日午前八時釜山へ上陸。釜山は朝鮮半島の咽喉にして玄關口、朝鮮に於ける最大なる貿易港、其の年額貳億五千萬圓に達し主要移出品は水産の貳千九百萬圓を始め米、大豆、繭、生絲等之に次ぎ、工産物としては綿布、綿絲、陶器、精米、清酒、製鹽、海産加工品及鮮魚等にして、人口拾壹萬三千人、其の内内地人四萬壹千人外國人六百人本縣人六千五百人の多數居住せり。

其の年額壹億五千萬圓に及び近來益々發展の趨勢に在りて郡是製絲株式會社分工場あり。地勢は視界一面の平原にして土地沃饒、農産物に富み到る所桑園あり耕作地として亦望みを將來に囑すべく己に近年蔬菜の促成栽培を實行しつゝあり。

烏致院。九月二十八日烏致院に到る。當地には萩町出身の白井素介氏あり氏は各種事業を經營せる爲視察上多大の便宜を與へらる。同氏は十五年前に渡鮮し數多の事業を計畫創始せられ現存に於ては桑園を拾町歩を開拓して養蠶製絲を經營し又米穀の仲買をも營みつゝあり。

地形は大田と同じく一望平原にして人口六千六百人中内地人壹千百人の小都邑に過ぎざるも朝鮮鐵道忠北線の分岐點に當り廣濶なる平野を控へ鳥川及美湖川貫流し地味肥沃農産物豊富殊に棉花、蠶繭、杷柳薄荷、酒、吹の産出に加へ果樹園多く桃、苹果等の特産物あり、將來發展すべき都邑なるべし。

白井製絲工場は烏致院驛を距ること拾丁餘京城に通ずる縣道に在りて目下百釜の操業なるも近く之を倍加すべき計劃中なり、工女は悉く鮮人にして年齢二

府廳勸業課を訪ひ轉じて釜山商業會議所、朝鮮紡績株式會社、日本硬質陶器株式會社を視察す、何れも資本金五百萬圓以上の大會社にして紡績は鮮人貳千人以上の女工を收容操業し主として粗布、綿布何れも大巾物の鮮人向とす。其の他資本金百萬圓以上のものに工業會社として朝鮮瓦斯電氣株式會社、釜山水産株式會社、商事會社としては釜山米穀證券株式會社其の他二三の會社あり。

産額百萬圓以上のものには綿織物、硝子器、紙袋、金銀細工品、陶磁器等あり殊に蒲鋒の壹千萬圓、再製鹽の四千百萬圓は其の主要なるものなり。

市内は外觀上商取引活氣を呈するが如くなるも緊縮政策の爲にや商況概して沈滞し各商店は齊しく嘆聲を漏せり。而して市内呉服雜貨等の小賣直段は内地下關に比し約一割以上の高値ならん隨つて釜山の工産品にして内地に移入し採算上引合ふべきものは見當らず。

大田。九月二十七日大田驛に下車す。當地は人口貳萬を有し木浦郡山に通ずる湖南線に分岐點南鮮の中央に位し、穀類、蠶繭、棉花、漢藥等の集散地た

十歳以内の者とし毎日午前六時始業午後六時開業し其の間晝食一時間を休み能く長時間の勞働に堪へ内地工女に比し更に遜色なく、製品亦精巧なり。而して工女は全部通勤制なるが爲寄宿者等の設備を要せず單に事務員の住家五棟を其の附近に建設しあるに過ぎず。又繭の買入れは内地の如く競争なく何々地方の繭は何々工場に賣約すべく郡衙に於て斡旋を爲し毫も事故なく、座して原料の買入を行ふを得るの良法を制定しあり、當地方に於ける鮮人の勞働賃金は男子貳拾五錢女子貳拾錢にして、而も勞働者の數無限なれば容易に雇傭し得らるべく要するに彼等は監督指導其の宜しきを得ば相等の効果を收むべく或る程度の資金を投じ工業を企圖せば前途有望なるべし。

京城。十月十日午前京城府著。京城は李朝五百年來の主都たりし所なりしが今は朝鮮總督府の所在地にして朝鮮統治の首腦地。目下博覽會開催中の爲市内は一層の殷賑と美觀とを呈し就中總督府の建物の宏大なると内部に使用せる大理石の結構壯麗なることは驚嘆するの外なく東洋一の造營物ならむか。

博覽會場を視察するに、その面積頗る廣く、南北産業館を始め内地館、米館、經濟社會館、美術館其の他貳拾館の多きに及び、各館何れも理想的の出品を陳列して遺憾なく、各館を詳細に觀覽せんか尠くも三日以上の日數を要すべく依て産業に關する各館に重きを置き之を觀るに。朝鮮各地の産物を一堂に蒐集しあるを以て多大の便利を得たり、然るに工産品の大部分は在留邦人の起業生産にかゝり、朝鮮在來の工産品として特に目を牽くものなく唯僅に螺旋漆器、高麗燒陶器を首とし鮮紙、疊表、簾類に過ぎず就中内地産の及ばざるものありと雖多くは朝鮮向に限られ内地の嗜好に適せず之を内地向きと爲さんには相當の加工を要すべく、又、織物には羽二重、麻緞子等精巧なるものあれども之れ又内地の嗜好に適せず但し美術製作所の製品に在りては内地一流品と選ぶ所なく實に進歩せるものなり。

博覽會は専ら日鮮の親善同化を導くべき趣意のもとに諸般の施設を盡せるもの、如く隨つて入場者は鮮人八分を占めしは當然ならん。

市街の本町通は博覽會の爲各商店は共に繁忙を極め

殊にデパートの如きは非常に雜沓し三越、中井、平野屋等一流の百貨店は何れも内地品多數を占め値段は内地に比し一割以上高値と思はる。又朝鮮館と稱する朝鮮産品を專賣せる大商店も博覽會場に於ける工藝品以外には何等の目新しきものなし。十一月十二日京城及其の附近の名勝古蹟を見學し翌十三日永登浦に向。

永登浦。此の地は人口僅に七千内外の小都邑なれども皮革、紡績、窯業等の大工場ありて物産としては紡績百萬圓皮革七拾五萬圓石鹼貳拾五萬圓煉瓦拾萬圓等にして國鐵京釜線、京仁線の二線の分岐點に在り將來有望視せらる。

仁川。永登浦を發し同日午後此の地に到る。鮮人四萬人内地人壹萬貳千人外國人貳千人あり。築港の開門式船渠は四千五百噸級の汽船三艘を繋留し得べく貿易額は壹億三千萬圓に及び鮮内内地は勿論大連青島、上海等航路の要衝に當り市内は朝鮮町、支那町とも多數の大商店櫛比し悉く卸賣問屋にして、商品は朝鮮各地へ販賣せらる。本日をして視察を終り十一月十五日萩町に歸著せり。

◎北海道及島谷汽船寄港地に於ける商業視察記

萩商工會視察團員 三井 慎一

所感。朝鮮の人口壹千八百萬人に過ぎざれば内地より移住の收容力相當あり。又貿易は年額七億四千貳百萬圓の巨額に達し尙逐年増加の趨勢にあるを以て此の際相當の資金を投し大田又は鳥致院の如き平原を選び、白井氏の如く桑園を開拓し或は養蠶を營み或は織物製絲の如き工場を經營するが如く何れの事業を創むるとも地の利を計り將來を考慮し半農半商の方策を以て劃策すれば將來有望なるべし。無資力者にして一定の技能なく單に勞働本意の渡鮮者の如きは生活程度の低き鮮人との競争上勝算の見込絶無ならん。其の他朝鮮に於ける工業生産は其の需用を充すに足らず機業の如きも其の産額四千三百萬圓に達すと雖尙ほ五千五百萬圓以上を内地及支那より輸入するの狀態に在り。

今回の視察は得る處尠く慚愧に堪へず將來何れの日にか朝鮮對内地間の産業を發展するの一助たるを得ば本懐の至りに堪へず。

昭和四年十月二十七日

視察の動機。萩開港の報一度傳はるや萩港を如何に發展さすべきか、商工業を如何に伸長さすべきか開港の恩恵を受けし上は活用發展は吾等の双肩に有りとし信し爾來汽船の入港毎に之を注視し時には港口に迄行きその積荷の状況を視ることあり、某日滿鮮行汽船の出港せる後多數の杉材筏の積残りしことあり之を取扱店に聞きたる所、揚荷貨物皆無の爲船内の收容力なく入港毎に殘貨多數に及べりとのこと。又商品の價格も北海道より取引するものと關門より取引するものと競争の餘地あるを知り北海道方面の物産を取引するには汽船を利用すること、せり、依りて北海道方面の商取引の状況を視察せんものと日頃考へつゝありしに時たま萩町當局より視察團派遣の事あるにより之が一行に参加すること、せり。

萩港出發。八月二十八日島谷汽船株式會社船鮮海丸に乗船。視察團員七名、午後四時、金子助役、田

中萩商工會副會長、萩日々新聞社の横山氏其の他諸氏の見送りを受けつゝ出港せり。一行は特別の待遇として一等室を興へられたる其の厚意を感謝しつゝ、未だ見ぬ北海の風光、各港に於ける商工業の状態、吾等の希望を胸に劃きつゝ一同談笑裡に時の移るを忘れ愉快なる航海を續けたり。

境港。 明くれば八月二十九日午前六時五十分境港に入港す。岡田回漕店、杉山境商工會員の案内に依り港灣の状況等詳細に説明を聴く。

人口一萬五千餘。水陸の連絡よく、殊に今秋完成すべき埋立地三千餘坪には大汽船を横付け得べく岸壁には引込線を布設し、テルハ、キャツプスタン其の他の新式機械を設備し、直ちに汽車積みを爲し得べく準備中。輸出主要物産は鮮魚類壹千貳百五拾萬圓、繭及生糸之に次ぐ。當港が漸次發展しつゝあるは米子松江兩市の玄關をなし且つ同地方の商工業者の大なる努力に俟つ所頗る大にして萩地方よりは夏蜜柑の商取引あり。

出帆迄には數時間あるを以て松江市を視察す。
松江市と萩町。 島根縣廳の所在地にして一見山口

を商港として活きんとし商工會と新舞鶴町當局とは大なる努力を拂ひ港内の引込線を株式組織となし、町は之れが五分の配當に付責任保證を爲し完成したるものと聞く。移入貨物は朝鮮米、移出は鮓を主とし北海道方面に出荷す。

敦賀港。 八月三十一日海路敦賀港に著く。敦浦連絡港に當りシベリア大陸交通の重要港なり。山下回漕店主の案内に依り市中を見物す。新田義貞公を祀れる金崎神社に參拜し同社より港灣を俯瞰すれば汽船數隻碇泊し貨物の揚卸しに忙はし。輸出貨物としては内地米、空籾、苳、綱等にして移入は朝鮮米、養鶏飼料、肥料雜穀等なり其の苳、綱は年産出額四十萬圓是等は附近農家の副業品なりと。主として北海道方面露領沿海洲方面に輸送せらる。萩地方に於ても之れ位の事は容易ならむ大いに副業將勵の必要を痛感せり。

伏木港。 汽船は當港より能登半島を迂回し伏木港に向ふ。伏木港出帆迄二日間の日時あるを以て鐵路に依り福井金澤高岡三市を経て伏木驛に下車す。伏木港は河川港にして三千噸級の汽船は岸壁に横付す

市の如く港灣に臨まず全くの消費都市にして商工業振はず、山陰線全通の曉には之が全通祝賀式を松江に於て舉行すべきか吾が萩町に於て開催すべきか之が全通祝賀會場の引受けに付ては松江市は大敵に非ず大いに運動を敢て爲さば十分の可能性ありと思考す午後四時歸船し直ちに宮津港に向け入港す。

宮津港。 八月三十日午前四時三十分宮津港に入港音に聞く丹後宮津港の財布も空になると。遙か彼方に天の橋立繪の如く浮ぶ。之ぞ日本三景の一。間もなく橋本宮津貿易商會社長の案内により詳細懇切に説明を聞きつゝ市中を見物し、天の橋立を經成相觀音に參拜す。當港は天然の良港なれども商港として特筆すべき事柄なく朝鮮米、鶏の飼料等の輸入あり、遊覽地として旅館の設備は完備し旅客を誘引すべき總ての點に於て遺憾なし。

舞鶴港。 午後四時宮津驛發列車にて鐵路舞鶴に向ふ。當港は材木の輸入を筆頭に石炭雜穀昆布等之に次ぎ輸出は鮮魚、罐詰を主要品となす。

新舞鶴港。 舞鶴港を視察し其の夜は新舞鶴港に一泊す。新舞鶴港は軍港廢止と同時に奮然起つて之れ

川上より流れ來る土砂は河堀汽船にて堀揚げては一丁餘の外海に捨て平時は十八尺乃至二十尺の水深を保ち得。

伏木商工會の田邊武松氏は曰く。伏木港は舊藩時代前田公の秘密港として世に知られしめざる事に努力し來りしも現代に於ては其の必要なく大いに社會に公表して天然の河川港を活用すべく人知れぬ苦心を拂ひ第一期築港著手以來其の效果近年に到り漸く現はれたるこそ洵に愉快なり第二期築港計畫としては外海の埋立を爲し港灣の擴張に着手しつゝありと。從來同港は米の輸出港と聞きしが朝鮮米の移入も相當多額に上り如何にと尋ねれば、先年朝鮮より視察團來伏しそれが縁となりて移入し始め現在に於ては酒造米には全部朝鮮米を使用し内地米を輸出することになり居れる由。其の外移入品としては北海鯨粕雜穀多數を占む。

北海道へ。 九月三日午後四時伏木港を出帆一路函館港へと汽走す。航海中無線電信にて賣勳事件、季王殿下上野美術展へ御成り、ツエ伯號の消息等を聞くラジオにては濱口首相の緊縮演説など聴き航海中の

心地もせず夜はイカ釣の景など観つ、九月四日午前
五時北海道函館港に入港せり。

函館。デッキより港内を視るに流石北海道の玄關
たるに恥じず大汽船の碇泊すること三十餘、港灣と
しては最も至極の良港にして鹽鮭鱈鱈の運搬せらる
を目撃し最早北海道氣分に浸たる。一同多大の希
望を抱きつゝ間もなく上陸を許され第一歩をこの大
開港埠頭に印す成田商會坂店の案内に依り小熊冷蔵
庫函館ドックを見學し函館商工會議所、函館海運同
業組合事務所を訪問し取引に付參考資料となるべき
詳細なる事項を聴取す。函館新聞社は吾が視察團の
來函を祝し併せて今後の取引を密接ならしむべく高
唱せる記事を掲載せり。目下は昆布、鹽鱈、鹽鮭の
出廻期にして九月末頃より雜穀も出廻るとのことな
りし。尙雜魚粕、鯨粕等も多量出荷せらる。岩壁に
併立せる數棟の金庫には産地よりの商品山積せられ
あるに驚嘆せり。各自は自己の商用に忙はしく、夜
は郊外湯川温泉に會合すべく約して別かる。翌日は
商用の殘務を終へ鐵路小樽市に向ふ。沿道には水田
に稻の實るを見る。

ありと思考す。小樽市の大倉庫には又海陸物産の山
積せられつゝあるを觀る今後出廻期に向へばより以
上の集荷ありと聞き尙更驚くに堪へたり。各自商用
を了り當市に於て視察團を解散し各自任意の行動を
執る。

札幌市。解散後數名は北海道の東京ともいふべき
政治の中心地札幌市に向ふ。小樽市を午後〇時五十
五分發列車の人となる。車中より展望し得らるゝ沿
道の農園、それは眞の北海道大農園として經營の状
況を觀る事を得其の農園生活の状態を想像し得らる
一時間餘にして札幌驛に着、市街の整然たる内地の
何れの都市も之に及ばざるの感あり、北海道廳を訪
ね同廳經營の拓殖館を參觀し全道都市の模型、主要
物産の見本、産額計數の統計など表示せられ移民の
奨勵は歴史的に、全道を居ながら視察するの感あり
不肖は歸路を急ぐを以て名残りの北海道を後に歸途
に就く札幌驛より東秋驛迄汽車賃三等急行券を併せ
て拾八圓拾壹錢を支拂ひ思出多く各地有志者の歡待
を感謝し多幸なれと祈りつゝ車中の人となりぬ。
所感。北海道の人達は比較的氣質が荒く殖民地氣

小樽港。九月七日午前八時半小樽驛に着く。西谷
回漕店、小樽商工會議所、島谷汽船株式會社小樽支
店を訪問し市の狀況を聴く。輸出物産としては、だ
し昆布、かに罐詰、雜魚粕、鯨粕、製油(魚油)、か
ずの子、棒鱈、雜穀、澱粉、米、馬鈴薯等を主とし
て又農産物の大輸出港を兼ね九、十、十一月迄に全
部産地より出廻り十二月よりは冬籠りとのこと全く
想像外なり。

翌七日は山口縣人會員にして現小樽商工會議所議員
長谷川末藏氏(大津郡深川町板持出身)及小樽日蓄商
會主任村田三介氏(萩町唐樋町出身)等の案内に依り
發動機船にて港内を一巡それより上陸自動車に依り
市街を見物しつゝ小樽公園に至り全市を俯瞰し種々
の説明を聞く。記念の撮影をなし次で水源地を視る
正午小樽ホテルに於て晝食を共にし快談盡きるとこ
ろなし。

萩町よりは夏蜜柑を函館と同額位に取引せられ竹材
は佐渡産に押さるゝ状態なるも萩産の竹材は品質の
優良なる点に於て強味あり當業者の奮發により品質
を選定すれば函館小樽方面其他に發展の餘地十分

分に由るには非ずやと思はる。故に商取引に付ては
十分念入りの上に之を行ふべき事。各港と萩港とを
比較するに他港は汽車汽船の連絡良く萩港としては
何等其の點もなく天然其のまゝの處女港なるを以て
人工の設備を爲し臨港線鐵道は港灣に連絡させてこ
そその効果舉るものと思考し一路萩港の發展に邁進
すべきものなりと信ず一行何人も然らむ。今後視察
團を派遣さるゝ場合は視察團員の選定、視察團人名
表、萩町主要物産の統計表、萩町史蹟名勝案内等を
以て萩町を紹介すべき必要ありとす
終りに臨み萩町當局併に萩商工會より多大の便宜を
與わられたること及各地有志諸彦の厚意を感謝す。

●鮮満の市場を巡りて

萩町技手 小林 壽一

吾萩魚市場が毎年一回指定仲買人中より適任者を選
定委嘱して之に私が加はり恒例的に實施して参りま
した先進地に於ける水産物取引状況の視察は本年度
を以つて三回に達し前二回は主として京阪神地方を

視察致しましたが方今は御承知の如く我萩町も漸く
 交通文化に恵まれ満鮮方面との交商が逐日繁盛を加
 ふるの機運に向つて参りましたので今回は同方面を
 視察する計畫を樹て指定仲買人より永安嘉平、和田
 甚右衛門の兩氏を視察員に囑託し私と共に十月二十
 八日當地を出發釜山、京城、奉天、撫順、大連、旅
 順等鮮滿の著邑市場を歴訪して十一月八日歸萩致し
 ました其の旅程は僅か十二日間に過ぎませぬけれど
 も私共は初めて見る所でありましたので大變興味深
 く見聞して歸りましたから茲に其の要旨を通俗的に
 記述致し大方諸賢の御高覽に供したのであります幸
 ひ御通讀下さいまして幾分でも御参考になる所があ
 りましたならば一同の幸甚とする次第であります、

一、釜山の話 只今は當町より大連に連絡する汽
 船もありませんが私共は旅程の都合上下關から關釜連
 絡船を利用致しました此の汽船に乗る前本旅行に對
 する豫備知識を得る爲下關驛前の鮮滿案内所を訪問
 して色々旅程其他の研究を致しました結果同鮮滿
 周旅券(省線主要驛及鮮滿案内所にて發賣)と謂つて
 此の方面を旅行する者へ特に途中下車無制限通用二

ヶ月間(大連下關間の汽船食料付)の二割引往復切符
 を買ふ事が最も割安であることを承致しましたので
 之を利用することに致しまして下關と釜山との交通
 は國境節にも有名な所謂關釜連絡船でありまして所
 要航程僅か八時間即ち晚乗船すれば音に名高い玄海
 灘も日本海の古戰場も夢の間に朝早く釜山へ到着致
 しますから萩の人が廣島へ旅するより近い譯で科學
 の進歩が自然力を征服しつつあるを思へば又一種の
 快味を覺へます。

釜山は歐亞大陸に通ずる大玄關でありまして逐年發
 展の狀勢にあり現在の人口は十一万參千人中内地人
 四万一千餘人最近の輸出入總額は二億四千七十万
 餘圓と稱へられ釜山上陸した初旅である私共の第
 一印象は市街が全く内地化して朝鮮と云ふ感じが割
 合抄く此の地が如何に古くから内地と密接な關係に
 置かれて居たかと云ふことを直覺される譯でありま
 す。

釜山附近の名勝地としては龍頭山、東萊溫泉、梵魚
 寺等がありますが私共は職務上そんな余暇もありま
 せんので旅裝を解く暇もなく釜山魚市場を訪問致しま

した此の魚市場は釜山水産株式會社の經營でありま
 して其の創立は明治貳拾貳年の四月でありますから
 既に四十箇年の經歷を有し鮮土では最古參の魚市場
 で創立當時は僅か五萬圓拂込の一小會社であつたの
 が現在では六拾万圓の資本金を公稱する會社となり
 其の間支鮮土人を魚食國民化する爲の宣傳と指導又
 は南鮮方面の漁場漁期餌料の調査漁具の適否試験内
 地人の出漁獎勵或は當業者に對し海參干海老、鱈鱈
 罐詰の様な水産製造業の指導から内地出漁者より官
 廳に對する出願申請書類の代辨用水の自製供給に至
 るまで實に涙ぐましさまでの犠牲的經營を續けられ
 今日では一般賣買關係業者の信望を贏ち得て最近一
 ケ年間の取扱高二百萬圓を降らず魚價が亦内地と大
 差のないのは支鮮土人が魚類を常食する様になつた
 ことを裏書するものであると首肯せられます釜山方
 面の漁業は最近機船底曳網漁業の不況におはり大謀
 網、流刺網、延繩漁業の發展を來し魚類の品目は其
 の殆んどを網羅し魚類の賣方は萩同様でありまして
 殊に今回の旅行で愉快に感じましたのは鮮滿市場を
 通じ其の販賣人(糶子)は其の大部が萩市場出身の人

である事で之を春秋の筆法で申しますならば萩魚市
 場は鮮滿市場の販賣人養成所であると公言出來得る
 譯であります尙水産製造方面から釜山を採研致しま
 すと内地と比較し原料多産の割合に極めて其の發達
 が幼稚でありまして總括的に申しますならば向ふの
 一流品は内地の二流品以下に相當する様であります
 然し乍ら内地は御承知の様に一般的に魚價が高いの
 で其の製品を鮮滿市場に送商して引合ふかと申しま
 すと運賃諸掛りと生産費に大差ある爲に到底其の見
 込はないのでありますこの事に就いては最後に詳し
 く記述したいと思ひますから茲では省略して置きま
 す。

尙序に申上げて置きたいのは當町殊に越ヶ濱、玉江
 浦等の遠洋出漁者が釜山に入港する税關が六ヶ敷く
 て入港出來ぬと謂ふことを往々耳にしますが是は當
 町から出漁前豫め釜山魚市場宛に通知して置きます
 と向ふで萬事其の手續を履行(代願)して下さる様
 になつて居りますので其の御心配は一種の取越苦勞と
 思ひますから其の邊御間違ひのない様に特に申添へ
 て置きます殊に近來本郡の近海は漁場の荒廢に伴ひ

不漁で漁業家の受難時代でありますから萩町も今年度から遠洋漁業を奨励して居りますので彼の寶庫である鮮満の海にどしどし出漁して漁場の開拓に努力されむことを切に希望して置きます。

釜山の話を終るにつきまして同地在住當町出身の成功者大島芳輔氏の御話しを申上げて置きますそれは釜山から少し西下致しますと(釜山から汽船便あり)統營と以ふ漁港がありまして此の地は水産製造業の極めて盛んな所で味淋干や煮干鯧が豊富に産出せられ現今釜山塩干魚市場へ日々集散する六、七千圓の製品は過半此の地から産出せられて居るようで近年の如く萩近海の鰯地曳網漁業が不漁續きと其の製造業者が閑散に泣く時代は相共にかゝる新天地に進出して漁撈の増大に製造の改良に努めらるゝ余地が充分あるとこのことで私共は旅程の都合上實地視察の出来なかつたことを極めて遺憾に思ひましたから御參考迄に其の直話を登載して置く次第であります。

二、京城の話 京城は元韓國の首都で李朝歴代皇居の地今は朝鮮總督府の所在地として朝鮮全土に於ける政治經濟其の他主なる機關の首腦地は概ね此の

處に設けられてあります北に北韓山鷹峰を負ひ西北には仁王山屹立し東には駱駝山聳々南は南山に面し漢江の巨流遠く洋々として府の東南を繞り山河襟帶形勝の地勢は一寸内地の京都に似て居ります市街は數年前迄は城壁で内外を劃られて居りましたが今は南大門、東大門だけを殘して其の他の城門や城壁は殆んど撤去され舊規模に比して三倍余の現代的都市計畫に依る新たなる京城府が建設されつゝあります就中最繁華區は鐘路で主なる商業地は本町一帶南大門通り黄金町を中心として日本風の商店軒を並へて活氣ある繁盛を見せて居ります電車は市内樞要の地点を連絡し數年來市區改正も着々進捗して交通も便利となり現在人口參拾壹萬五千六百人中内地人が八萬四千人に及び外人も五千人位居住して居るそうですあります京城で私共が第一番に足を運びましたのは朝鮮博覽會であります會期は九月十二日より十月三十一日に至る五十日間でありましたが私共一行が京城へ到着致しましたのは最終日に近い十月三十日でありますから謂はば朝鮮博の成果期で一層の興味を唆るものがありました本博覽會は御承知の如く主催が

朝鮮總督府であり其の所要經費は二百余万圓と稱せられて居りますが各地の特設館は計算外でありますから官民九十有餘の特設館の經費を合算致しますと現代日本の既設博覽會中の白眉と稱することが出来ると思ひます此の博覽會で當局が特に考慮を拂はれた苦心の跡は從來博覽會に見る會場を二三にせず綜合會場とせられた点で此の會場は風致に富む景福宮址の十萬坪を巧みに利用せられ所要建物百二十余棟此の延坪數壹萬七千余坪全く以て縮圖的現代日本文化の一大殿堂の出現であります出品の範圍は帝國領土内は勿論委任統治地租借地及滿州に及び尙參考館内には外國の出品も相當ありました出品は之を産地別に區分せられ其中朝鮮と内地は之を區分し或は對照する等其の轉變配合の妙は當局の苦心に依り既設博覽會の採長短補主義に依り遺憾なきを期された爲本博覽會は一大成功裡に終つたのであります本博覽會に關する詳細なる文献は別に保存してありますので必要に應じ發表することとし茲に省略致しまして當該博覽會に於て私共の目に映じた朝鮮土人觀を申上げて見たいと思ひます早い話しが

京城府の人口三拾二万の中其の八割は朝鮮人でありますから博覽會へ一日拾万人の人が入場致しますと其の中の八萬は鮮人でありますが此度の博覽會に入場者が多かつたのも此の鮮人の心理をうまく利用したものだと思ひますそれは鮮人位射倖心に富んだ者はなく博覽會事務局では開期中日々入場者に對して相當金額の物品を豫告表示し福引券を入場券と引替へに交付されて居りましたが彼等鮮人は之を目當につまり漁夫の利を占めむとしてなだれを打つて押し寄せるのであります其の證據は會場門限頃彼等の歸るのを見ますと手に一品の買物もなく明日の福引の話等をして歸るが落らであります私共が参りました前々日の如き朝鮮人の一勞働者が印絆纏を入質して入場券を買ひ求め自働車一臺を引當てたと謂ふ事實もあり是等は彼等の射倖心を益々沸きたせたと様で博覽會最終日の如きは福引一等米五十俵が人氣を呼び十萬坪の會場内も全く立錐の餘地ないまでに入場者がありましたこの觀察を以つて考ふれば朝鮮に於ける商人も彼等の心理を甘く利用して營業方針を樹てたならば必ず成功する様に推察される譯であり

ます
 京城の魚市場は 明治三十八年京城驛前に有志に依つて設立されました株式會社京城水産市場が其の嚆矢で其の後明治四十一年に大量生産者直賣の理由で釜山の漁業家香推源太郎氏が現在の朝鮮銀行側に日丸魚市場の許可を得更に明治四十二年には龍山の發展に伴ひ殊に當時區域を異にする理由のもとに龍山及仁川の有志で龍山水産株式會社を組織し當時は三市場對立状態となつたのでありますが時代の進運は遂に單一制魚市場の出現を要する處となり昭和二年十二月前記三市場を合併して府營市場とし其の業務は京城水産株式會社が之を經營することとなつたのであります此の市場の現在一ヶ年取扱高は百四十万圓位で其の賣上は全く汽車輸送の委託物で其の主要生産地は内地全鮮滿州方面を網羅し賣捌魚類は市内で全く消費する所謂純然たる消費市場であります仲買人八十人附屬仲買人百六十五人市場従業員三十八人毎日の市場出入者約八百人であります
 位置は京城府義州通貳丁目て京龍間の中央に介在し京城驛に隣接して引込線の便もあり設備は現代式で

冷蔵庫生洲洗場車置場等遺憾なく整つて居ります茲で注目し値ひするのは糶場の設備でありまして魚の並列場は中央高段に縦斷され左右に魚の鮮度形態に眼りの利く程度の勾配を付せられ尙左右の並列場所には衛生上より魚の損傷及盜難を防ぐ爲長さ四間に巾二間の鐵枠を各拾ヶ宛定置し魚は此の枠内に並列し仲買人は枠外に立つて賣買することゝなつて居りますから此の施設は極めて進歩的で今後の市場は此の要領を採用する必要が緊切であると痛感致しました手数料は一割で仲買歩戻金は一步七厘荷主に對し五厘の歩戻があります此の市場の公休日陽曆一月一日及同月三日十二月三十一日であります私共が今回視察したのを機會に相場表を送達して貰ふことを口約して参りましたので冬季は當地から送荷して相當見込あるものも段々あると信じましたから何卒萩の仲買人各位は御引合になり取引を開始或は繼續さるゝ様希望して置きます當地の水産製造業は消費地である關係上蒲鉾屋が五、六軒に過ぎず斯業者の多數な割合に原料生産の乏しい萩町の當該技術者等の進出上極めて有利な土地であると信じたのであり

ます何れ此の事も最後に詳言致したいと思ひますから此の位で京城のお話は打ち切ります。
 三、奉天の話 奉天は往時盛京と稱へられ清の大祖皇帝遷都の地遼河の支流である運河畔に位し天津營口撫順法庫門等各街道の要衝に當り南滿州鐵道本線及安奉線と平奉線の交叉點で古來東三省政治上の中心地であつた處今現に遼寧省廳の所在地であり滿州内地貿易の中心市場であつて商業の範圍は可なり廣く市場は般賑商況も活潑で市内の交通も電車自動車馬車人力車等至れり盡せりて人口は附屬地を合して三十二万人中内地人一万九千人にすぎません奉天の市場は滿鐵の後援にて半官半民の滿州市場株式會社の經營で資本金四十万圓其の半額は滿鐵の出資となり現社長も亦滿鐵總裁であります茲は魚菜類一切を取扱ひ手数料は鮮魚一割一步菜果鹽干魚一割で一ヶ年の賣上高六十萬圓以上と稱せられ歩戻金は未だ拂戻して居りませんが目下委託者より盛んに要求運動があるので考思中とのことであります物價は魚菜を通じ結氷期(自十二月至翌年三月)の外は比較的安價で萩方面よりの送荷は見込尠い様ですが結氷期

時代の野菜類及夏蜜柑は有望の様で向後相場場の通知を依頼して歸りましたので其の都度關係先各位へ通報し斯業の交商上に勉めたいと思つて居ります尙夏蜜柑の荷造方法は必ずビール箱級の十貫匁入(此の運賃萩から一箇參圓八拾錢位)の箱を採用せぬと途中に於ける破損と運賃經濟上不利の嫌あることとで尙結氷期の野菜類は防濕せざる様留意して發送する必要あることの注意がありましたから序に申上げて置きます
 奉天一帶は支那人が其の殆んどを占めて居りますが彼等一般に生活程度が低く勞働者は一日一人十錢位で良く其の生計を維持する状態ださうですから安いものを多く賣る様な風に仕向けぬと商利を博することとは出來ぬ様であります茲でも水産製造業と認むべきものは蒲鉾屋が二、三軒あるにすぎません
 四、撫順の話 撫順は御承知の様炭坑地帯でありまして是等は全部滿鐵の經營に屬し殊に有名な露天堀は南北一里東西四里に亘り炭層は其の厚さ薄さ所でも七十八尺最高四百二十尺平均百三十五尺埋藏量實に九億噸と推算せられ一日二萬噸宛採炭されて

居りますが之が採掘を終るには今後百年を要すると謂ふ大規模のものでありますこの地はもと寂莫な一寒村にすぎなかつたのが日露戦役後滿鐵の經營となり以來急激に發展し今や人口七萬七百余人中内地人一万五千四百餘人を有する一大模範市街を形ち造つたのが其の後炭坑採掘の進捗に伴ひ新市街の地底をも採掘の計畫成り舊撫順驛の北方二哩の地點永安台に撫順驛を移され更に此の處に新市街の建設移轉を行ひ大規模の採掘が開始されて居ります茲には公設市場があり魚菜果一切は奉天市場の供給でありますが蒲鉾の様な製造業者は認む可きものもありませんので奉天と共に内地當業者の進出は派出な炭坑地帯丈けに極めて有望らしく痛感致しました尤も嚴寒期は原料の關係上一考を要する必要は勿論ある譯であります

五、大連の話 大連は大連灣の右翼岬角黃柏嶺に連なるグキクトリヤ灣の一部を占め前面は海を隔て、大孤山岬角と相對し背面に丘陵を負ふて居りますので自ら北西南三面の荒風を遮りわずかに東方の一路を黃海に向つて開き滿蒙開發の大動脈である南滿

州鐵道の起點地として極東貿易港の一權威であります

市街は主に露國時代の設計を踏襲され大廣場を中心として放射線形に大通りを岐出し夫を經に小通を緯織して四公園六廣場を有し宛然蛛網狀の一大市街を形成して居ります電話電氣瓦斯上下水道の設備も完備し道路は歩車道の區別あり歩道は凡てコンクリート方塊坂を敷詰の車道はマカダム式舗礫道とし其の上面にコールターを塗布し歩車道間には排水側溝を設けてあります歩道に植わ付けられたアカシヤボブラなどの街路樹は旅行者に爽快な感じを與へてくれます大廣場の南部一帶には各國領事館大連民政署市役所滿鐵本社などあり官衙區とも謂はれ大廣場の北部は諸會社銀行新聞社旅館市場各種の店舗櫛比して商業區を爲し埠頭の南部即ち東廣場界隈は豆油及豆粕製造業の本據地で自ら工業區を形つて居ります電車は埠頭から市内大通に周通し沙河口老虎灘に至り郊外線は名勝星ヶ浦に通じて居ります埠頭は滿鐵の經營で防波堤は約百万坪の海面を抱擁し現在三箇の埠頭延長一万四千餘尺に三十六隻の船舶を繋留

し二万噸級の巨船も横付し得るに至り汽車も亦此處に發着して船車の聯絡も完全に行はれて居ります其の他待合室埠頭陸橋等何れも東亞稀に見るものと謂はれ構内には現在倉庫七十八棟一萬坪の廣さに及び此の外七万坪の野積場があり冬期物産品出廻期の豆丘穀堤は實に壯觀であること貿易状態は輸入は綿織物を第一とし綿糸麥粉金屬機械器具煙草石油木材等之に亞ぎ輸出は豆粕大豆小麥豆油などで貿易年額六億圓人口約二十二萬七千餘人中内地人が八万人に及んで居ります

大連魚市場 は明治卅九年大連在住の漁業者中の有志相謀り五萬圓の資本金を以て合資組合關東魚市場が創設されたのが其の濫觴で其の後明治四十一年資本金五十萬圓の滿州水産株式會社が設立されて前記關東魚市場を繼承し初めて大連魚市場と稱ふる様に成つたのであります會社がこれを經營すること十有九年其の間事業の盛衰に伴ひ資本金の増減はありましたが其の後市場の發展と共に公稱資本金百万圓と爲し其の業績見るべきものがありましたたけれ共時連の推移は水産業者の覺醒を促し大正十五年五月

關東州水産會令の公布と共に關東州水産會の設立を見魚市場は同會の一事業とするの説有力となり昭和二年二月同水産會の直營を斷行されたので市場も當時信濃町にありましたのを昭和四年五月現在の乃木町海岸に新築移轉されたのであります

大連魚市場が前記水産會の手に歸しました當時から機船底曳網の勃興期で爾來益々發展して現今三百二十萬圓位の賣上を示し隆々として躍進の途上にあります手數料は一割に對し歩戻金は仲買人へ一歩七厘漁業者(荷主)へ對し八分で更に賣收條件として舊滿州水産會社へ三分の歩戻を爲して居ります従業員は二十四人賣場其の他の施設は開業日尙淺き關係もあり相當改善の餘地がある様に見受けました此の方面には萩町方面から遠征しますと市場の見込も相當あり機船底曳網も現在二十四組位ありますが一概に申しますと萩方面の倍額位の漁獲高はありますから總べての方面に有利であり殊に大連は自由港で同年操業の可能性あり而も何等の制限もなく極めて遠征に便利な土地であると思料致しました生産市場である大連市場にも亦認む可き製造業者なく魚價は内地の

半額位で此の方面も亦當業者の發展の餘地は充分残されてゐるのであります

六、旅順の話 旅順は遼東半島の最南端四周丘山の別天地であつて碧水深い海灣に臨み港は東西二港に分たれ東港は我海軍の要港部の所管西港は近年修築された商港となつて居りますが尙大連の補助港にすぎません市街は新舊兩市街に分たれ龍河口の北岸である旅順驛を中心として其の東を舊市街西を新市街と云ひ舊市街は商業區新市街は官衙區で關東州の政治機關である關東廳其の他の官衙官舎等宏壯な建築物があり人口約二萬人と稱へられて居ります旅順は御承知の通海に陸に行くとして過去二大戦役の慘禍追懐の遺蹟でない處はなく此の地は要するに戰蹟巡覽の地で俯仰佇立轉た斷腸の感を深うせしめられます

然し乍ら旅順は向後漁港として彼の寶庫である青島沖合から支那海方面にはむしろ大連より地の利を得て居るのでありますから血眼となつて新漁場の發見に努力しつゝある我萩町の遠洋漁業者等は地價も安く生活に不自由のない將來ある此の地へ移住をする

は皆相當成功して中には巨万の富を蓄積してゐる方もだん／＼あるのであります今日は不景氣時代でありますから一攫千金は夢見られませんが尠くも内地より凡ての點に於て活動の餘地があることは何人も異議のないことと思ひます。

吾敬愛する萩町の諸君よ百聞は一見に如かず進取の氣象をもつて一つ大いに滿鮮の天地に活躍を試みるべく一度は是非滿鮮視察に御出掛けになることを切に／＼懇望してやみません

氣候等も想像より餘程暖かく三寒四温と云つて三日寒ければ四日は暖かい所で住宅等は良く設備が整つてをりますから内地以上の住心地です五月には櫻やリンゴ桃等の花が一時に開くさうです井戸の中の蛙大海を知らずと申しますが一度滿州の天地に足を運びますと萩町等はマツチ箱より小さい氣が致します私の拙ない文筆を良くも御愛讀下さつた方々に敬意を表すと共に視察先各地で特に御世話になりました左記各位に深甚の御厚禮を申述べて此の筆を擱きます

記 敬稱便宜省略

ならば茲は恐らく鮮滿第一の理想地であると私は深く信じて疑はぬ者であります邦人在住有識者又旅順發展の爲大いに其の實現を希望して居らる様であります

七、視察後の感想 晝は歩き夜は船車のあはたしい旅行でありましたので私の感想は皮想の嫌は勿論免れ得ませぬけれ共鮮滿の天地は内地より水産物等を送るよりも當業者自ら進出して働くことが一番成功の早道であると痛切に感じました何しろ何れの産物も内地以上に豊産する土地である上に勞銀は内地の約半額奉天あたりは税金は一文も出でず土地は家さへ建てれば無償提供と謂ふ工合で大連や旅順もこれに近く殊に漁業は有望だし製造業は認む可きものなく加ふるに水産製造業中蒲鉾屋の如きは鮮滿を通じ萩の製造戸數の五十分の一にも足りません原料は向後漁業の發達と共に無盡藏の感がありますし其の上鮮滿の内地人は邦人の進出を非常に歓迎してゐる譯で私共でさへ今回の旅行中同縣人の方々に肉身以上の御配慮を受けまして實に涙ぐましいまでの有難さを感じました本縣から早く彼地へ移住された方

- 釜山水産會社 矢坂一人
- 全 伊藤銀藏
- 釜山府南濱 岸田辰藏(萩町出身)
- 平安北道廳囑(京城ニ面接) 福田茂穂(全)
- 京城水産株式會社 守永眞平(全)
- 全 藤崎定
- 京城府明治町 熊野吉藏(萩町出身)
- 京城府廳 松本繁藏(全)
- 滿州市場株式會社 久富良三
- 全 中根照夫
- 奉天府八幡町五 石光正夫(萩町出身)
- 全 松浦市太郎
- 關東州水産會大連魚市場 上田榮吉(萩町出身)
- 全 井上理吉
- 大連民政署 市村源二
- 大連市西通一〇四 松岡嘉三郎
- 全 羽月治郎兵衛(萩町出身)
- 岩佐儀一
- 旅順市乃木町 大島吾一(萩町出身)

旅順市乃木町
旅順市鞍山
全 朝日町

田中徳三郎
外山宗一
井町正八(萩町出身)

◎柑橘に對する防寒上の

注意

萩町技手 成澤 廣

元來柑橘は亞熱帯の植物にして其の生育上氣温は或る一定限度を越へざる以上高温を要するものである氣温の高低と柑果とは各種の關係ありて其の得失なしとすること能はずと雖大體よりして或程度まで温度のhigher程柑果の品質を良好ならしむるものである之れが最高温度は華氏の百三十五度位にして之れ以上の高温は柑橘の生育を不利ならしむるものである同時に其の最低温度は品種によりて之を異にし彼の枳殼柑の如きは耐寒性最も強く温州夏橙、ネーブル之れに次ぎレモン等の如きは最も寒害を蒙り易きものである而して普通柑橘類に於ける最低温度なるものを見るに大約次の如く限定さるゝ様である

- 一、花蕾のとき 三十度
- 一、花時及結實のとき 三十一度
- 一、綠果のとき 三十九度
- 一、成熟のとき 二十六度
- 一、其の他のとき 二十六度

以上の如く時期によりて其の温度を異にするものなれば常に注意すること肝要なりこの萩地方は一月二月の嚴寒の頃最も被害を受け易き時期なれば今から其の豫防策を講ずる必要がある我國で防害法として最も普通に行はるゝのは霜除けと稱して菰を以て樹を包む方法である米國にては點火に依る加温法が行はれて居る其の他防風設備、灌漑及撒水等によることもあるが私の御勧めしたいのは以上の方法も勿論必要ではあるが特に中耕、施肥並に敷草によつて樹の生育並に柑果の美大を計ることに同時に氣温を高めることであるすべて柑橘に限らず樹勢の保健なるものは比較的其の被害を蒙ることの少いのは云ふまでもないことである而して萩の夏蜜柑を見るに一般に老齡樹多く而も施肥量少なく且又根部は地中一面に古根蔓延し其

の上園内の中耕不十分なる詰果恰も植換へを行はざる盆栽の如く新根發生の餘地少なく自然樹勢衰弱し寒害を蒙ること甚しき状態にあるのである故にこれ等の影響を除かんが爲には先づ園内の中耕を行ひ空氣及日光の透射を謀り以て土中の温度を高めバクテリアの繁殖を助け肥料の分解を完全ならしめ新根の發生及肥料の吸収を容易ならしむること等肝要である併し其の方法時期等を誤るときは却つてそれが爲に落果せしむることがある即ち夏蜜柑の如き着果し居るものに對し嚴寒の折過度の中耕を行ふときは其の爲に落果することがある又生育期中甚しく深耕するときには根を傷め果實の發育と成長とを害するものであるが然らば其の適期は何時頃なりやと云ふに春三月根の伸長し始むる頃で採果後を最も適當とするのである又秋十月頃の中耕も其の効目多きものなり而して今迄に於て既に耕耘を怠り細根の地表に近く蔓延せる園の如き一時に深耕するときには根の大部分を剪去せられて樹勢を衰弱せしむるを以て初めは幹に遠き樹間のみを耕鋤し年々耕鋤の巾と深さを増加する様にするがよい斯くするときは土壤の深部迄通

氣佳良となり細根の蔓延區域を著しく大ならしめ細根は能く土壤の深部まで蔓延しバクテリアの繁殖は盛んになり養分の分解完全にして施肥の効果も亦著しく従つて細根の深きが故に乾燥も寒害もある程度迄は豫防する事が出来るのである次に有機質肥料であるが堆肥、厩肥、綠肥、山草、藁、塵埃等の有機物を多量に施すときはこれらが腐敗分解を起して盛んに炭酸瓦斯を發生するこの炭酸瓦斯が空氣中に多くなると氣温を高めるのである「アレニウス」氏の計算に依ると現在の空氣中の炭酸瓦斯を半減せば氣温は四度降下し之に反して其の量を二倍に増加するときには四度上昇し四倍に増加すれば八度昇ると云ふことになるから結局有機質肥料の施用に依つて或る程度まで寒害を防止することが出来る道理である尙これを毎年施すときは土壤は膨軟となり地温も増加することとなる又この炭酸瓦斯の發生によつて炭素の同化作用も直接盛んになり植物の生長を助くるのである故に嚴寒の未だ到來せぬ十一月月中旬に多量の有機質物を樹の下に施すときは嚴寒までには腐敗分解して樹勢を盛んならしむると

同時に炭酸瓦斯の發生によつて氣温を増加し且つ敷草によつて根を直接寒氣に觸れしめ爲自然寒害に對する豫防ともなるから出来るだけ夏蜜柑園には塵埃、藁、山草等を敷き且有機質肥料を施す様御勵めする次第である

尙この有機質物を多量に施すときは土壤が酸性となる故石灰を施して中和すること肝要なり其の施す時期は他の肥料を施す時期と一週間も隔て、置けば何時でも宜しいのである而してこれ等はよく土を掻き混ぜる必要がある斯くして三月頃となりこれ等の有機質を中耕によりて土中に鋤き込みこれを毎年繰返して行ふときは寒害に對し低抗力を増し従つて結實歩合も多くなる理である

◎船舶登録

熊本遞信局海事部に於て昭和四年八月中船舶原簿に登録を爲せしもの、中萩町關係の分左の如し

船名	登簿噸數	船籍港	所有者の住所氏名
第一 勝利丸(新造)	五九	萩町	萩町 村正
	三八	島村	正一

第七 鱗成丸(新造)	四二	萩町	萩町 藤山清太郎
第八 鱗成丸(全)	四二	全	井上彌七
第十一 泰昌丸(全)	三五	全	長谷川源次郎
第十二 泰昌丸(全)	三五	全	長谷川源次郎
第一 富久丸(船體札船ヨリ編入)	三四	全	山村次郎
第一 富久丸(全)	三四	全	山村次郎
第一 泰昌丸(全)	三五	全	長谷川源次郎
第一 泰昌丸(全)	三五	全	長谷川源次郎
第一 祐生丸(全)	三六	全	大島誠一
第一 祐昌丸(全)	三六	全	大島誠一

◎昭和三年度萩町輸出入品調査

品名	輸出品數	輸出品量	輸出品價	輸出品額	輸出品先	輸出品經由地
竹製品 炭斗、竹箒、其他		三五噸	三〇圓	一、一〇〇圓	大	直
漬物(澤庵)		七	九〇	三〇〇	全	全
杉丸		二、二二四	二二	四六、七二八	全	全
罐詰		三五	二二〇	八、〇五〇	全	全
木炭		一八	一九	三五二	全	全
菓子		二	三五二	七〇四	全	全
海草		一	三〇	三〇	全	全
酒粕		三	八〇	二四〇	全	全
夏藁		五	八	四〇	全	全
竹材		三九四	五三	二〇、八八二	全	全
竹材		八、六九五弱	二、三〇〇	二〇、〇〇〇	全	全
木材		四三四、五二二弱	二、三〇〇	一〇〇、〇〇〇	全	全
計		四四五、八四一	二、三〇〇	一九八、四二六	全	全

シ	毛	全	自	コ	チ	南	ベ	米	米	米	米	全	自	自	蓄	帽
ビ ノ ー (石 鹼、 水 白 粉、 香 水)	モ ヘ ヤ (シ ョ ー ル 等 ニ 用 フ)	附 屬	動 車	ス タ	エ 洋	ニ ヤ						車 ホ ロ 部 分 品	動 車	動 車	音 機 針	子 ベ ロ ア
ッ	布	品	玉	ン	材	板	檜	樹	松	杉					白 粉 香 水 其 他	コ ロ ン ビ ヤ
	一 〇 枚			二 〇									二 〇	七 〇	九 〇 〇 箱	二 打
	五	二 二		一、 二〇	二、 五〇							二、 〇〇	一、 五〇	二、 〇〇	一、 〇〇	一、 〇〇
五 〇、 〇〇 〇〇	一、 〇〇 〇〇	四、 〇〇 〇〇	一、 六〇 〇〇	五 〇〇	五 〇〇	一、 〇〇 〇〇	二、 〇〇 〇〇	四、 五〇 〇〇	七、 〇〇 〇〇	二、 五〇 〇〇	四 〇、 〇〇 〇〇	一、 〇〇 〇〇	一、 〇〇 〇〇	二、 〇〇 〇〇	二、 〇〇 〇〇	二、 〇〇 〇〇
英	佛	全	全	全	米	ヒ リ ツ ピ ン	露 西 亞	全	全	全	全	全	全	全	全	佛
國	國				國	國	國									國
全	全	全	大	全	全	名	全	全	全	小	全	全	全	全	全	大
			阪			古				倉						阪

毛	望	寶	時	シ	ロ	過	人	ア	大	大	全	ガ	石	蠟	バ	礦	ミ		
遠	石	計	計	ガ	ー	燐	造	ン	豆	豆		ソ	ン		ラ	リ	重		
鏡	アレ キ ル ビ ー	(機 械 ノ ミ)	酸	ミ シ ン	ブ	酸	料 (配 合 肥 料)	モ ニ ヤ	玉	糟		リ	油	蠟	油	油	油		
三、 三〇 〇	四 五〇	七 〇〇	一 九	二、 〇〇 〇〇	一、 〇、 七〇 〇	一、 〇〇 〇〇	一、 〇〇 〇〇	十 貫	一、 〇〇 〇〇	一、 〇〇 〇〇	五、 〇〇 〇〇	七、 〇〇 〇〇	六、 〇〇 〇〇	一、 四四	二、 四〇	一、 二〇	四、 二〇	八、 四〇	
二、 三〇 〇	一、 五〇	一、 七〇	五	二、 八〇	五	二、 三〇	三、 五〇	三	三	六	一、 三	一、 三	一、 三	一、 三	一、 三	一、 三	一、 三	一、 三	八、 九
八、 〇〇 〇〇	三、 〇〇 〇〇	一、 〇〇 〇〇	三、 二〇 〇〇	五、 〇〇 〇〇	三、 〇〇 〇〇	五、 〇〇 〇〇	八、 五〇 〇〇	一、 七〇 〇〇	二、 一〇 〇〇	一、 八〇 〇〇	八、 六四 〇〇	三、 一〇 〇〇	七、 二〇 〇〇	五、 五二 〇〇	七、 五六 〇〇	七、 五六 〇〇	七、 五六 〇〇	七、 五六 〇〇	七、 五六 〇〇
英	佛	支	ス イ ツ ル	米	マ ニ	全	全	大	英	全	米	蘭 領 ス マ ト ラ	米	北	蘭 領 ス マ ト ラ	蘭 領 ス マ ト ラ	蘭 領 ス マ ト ラ	蘭 領 ス マ ト ラ	蘭 領 ス マ ト ラ
國	獨	那	製	國	ラ			連	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國
全	全	全	大	神	大	全	神	全	全	下	全	門	神	大	神	神	神	神	神
			阪	戶	阪	戶	戶	關	關	關	司	戶	阪	戶	戶	島	島	島	島

ス コ ッ チ
 籐製品(椅子、卓子等)
 革製品 スミット
 ロースター

一、七〇〇
 二、〇〇〇
 四、〇〇〇
 一、七五〇
 四七〇、一一一

獨逸 全
 南洋支那人
 ノ手ヲ經テ

●十一月中萩港輸出入貨物調

品名	輸出入	噸量	價格	輸出先
杉丸太	輸	二〇〇	二、五二〇	關東州
青竹	輸	八	一三〇	全
鐘詰	輸	四	九〇	全
鯛粕	輸	二	二五	全
菓實	輸	一	一五	全
竹製品其他	輸	二	一八	全
合計	輸	二一七	三、九五六	
家畜飼料	入	五	二〇〇	關東州
合計	入	五	二〇〇	

本年一月以降累計
 輸出(數量) 二、八五噸
 輸入(數量) 五噸
 輸出入(合計) 二、九〇噸

●昭和四年九月中關係各開港別輸出入額調

港別	輸出入額	輸入額	合計
横濱	七、四六、三二一	三、四七、九五二	一〇七、九五九、二九三
神戸	五、四六、九三七	五〇、三六五、五五二	一〇五、八三二、四八八
大阪	四、五七、七九二	二、七六、三五七	七三、三四、〇八六
名古屋	五、八〇、三三四	三、八六、五七三	八一、九五九、〇七〇
門司	三、四一、〇八二	五、六七、九三三	九一、一六〇、七五〇
長崎	一、〇六、〇七〇	一、五〇、四七	二五、九七四、七七〇

産地	噸量	價格	仕出地
函館	二、二四九、五六	二、二九〇、九四三	四、五四〇、四六九
小樽	一、五九九、四五九	三三三、五〇〇	一、八五四、九五九
徳山	四七、一一一	一、六四五、七〇八	一、六九二、八八九
敦賀	一四六、三三五	一四六、一七六	二九二、五三三
尾道系崎	二二、六八一	七二七、六〇七	七四九、二八八
伏木	一六、〇二五	四七六、九六〇	六七二、九五五
下關	一六五、四二五	一五、五八七	一八一、〇〇二
宮津	〇	七、〇二〇	七、〇二〇
境	二、四八〇	一七、〇三五	一九、五五五
萩	三、五三二	三〇〇	三、八三三

●萩町立萩魚市場賣買取扱高

(昭和四年十一月分)

區別	本月分賣買取扱高	年度累計
萩魚市場	六二、二五八、四三	四三、四八八、七〇
越ヶ濱出張所	一五、四三、〇六	二六、二五、八九
玉江出張所	二、五八、八九	五七、四八九、九四
計	八〇、二八、三八	六〇八、〇五四、五三

●十一月中の氣象

氣温平均 最高氣温 最低氣温 雨雪量
 一一、八七 一五、三四 六、七一 一〇八厘

●十一月中風向觀測

北北東 東南南 南南西 西北西 靜穩最多方向
 四 | | | | 七 七 南 東

●十一月中天氣類別日數

種別	日數
快晴	一六
晴	二
曇	一
雪	一
霰	一
霜	一
濃霧	一
雷雨	一
地震	一
風暴	一
最高卅度以上	一
最低〇度以下	一

●萩の菊花陳列會

花卉園藝の普及を企圖し其の向上發展を期する目的を以て拾壹月拾四、五、六の三日間萩町公會堂に於て菊花陳列會を開催せり入場者延人員七千人を算し

其の出品點數左の如し

種類	點數	出品人	氏名
懸崖菊	一七	松本市	中原二郎
同	六	土原	張忠一
同	八	平安古	尾崎孫一
同	八	下五間町	田中清二
同	六	堀内	守田源吉
同	三	濱崎	山本莊吉
同	一	土原	山内清次
同	二	五間町	吉原壽三郎
同	二	東田町	柏木寛六
同	一	濱崎	阿川五郎
同	二	熊谷町	藤村茂一
同	一	五間町	吉山旅館
同	二	土原	柴田修亮
同	一	唐樋町	松浦光藏
同	二	椎原	内藤市祐
同	三	瓦町	菊屋孫輔
同	四	戎町	上利徳三郎
同	八	舟津	齋藤安彦

同 計 七八點 唐樋町 松浦光藏

朝鮮北海道大連線萩港 發著日程

船名	往航	復航
長成丸	十二月四日	十二月二十五日
大成丸	十二月十三日	一月四日
春朋丸	十二月二十七日	一月十八日
長成丸	一月十三日	二月三日

(本船は樺太西岸に於て遭難の爲缺航す)

財政經濟

徴稅事務集合監査施行

十一月四日より同十日迄一週間萩町役場に於て阿武大津兩郡各町村徴稅事務の集合監査を執行せり縣廳よりは原田地方課長以下縣屬共六名出張其の間嚴密

に帳簿及書類を監査し監査終了後各村の諸帳簿を陳列閱覽せしめ以て採長補短の資に供せしめられたり最終日に於ては監督の結果に基き講評を兼ね事務研究會を開催せり監査の成績左の如し

郡名	甲	乙	丙	計
大津郡	一	五	四	九
阿武郡	五	一七	二	二四
計	五	二二	六	三三

昭和四年度十月分納稅成績

十月分の稅金は所得稅第二期分、同附加縣稅、縣稅地租附加稅、町稅地租附加稅、縣稅特別地稅、同附加町稅及特別稅戶數割第二期分の七種にして内所得稅は萩町全區を通し完納其の他の各稅を完納したるものは左記二十七區なり

記

川島第三區、土原第二區、江向第一區、江向第二區、河添第一區、河添第二區、堀内第一區、堀内第二區、目代區、中津江區、上野區、中ノ倉第一區、中ノ倉

英和辭典によるとクレジットとは信用の譯がついてゐる、昨今新聞に盛に現われる金解禁問題に關するクレジット設定云々の場合のクレジットも勿論信用と解して良いけれ共少しく意味を異にしてゐる。例へば吾々が借金をするにしても信用貸となる。擔保も何もないのが本當の意味の信用である、然し金解禁問題のクレジットは左様でなくて政府は立派な擔保も提供して居り、一言して言へば「將來一定期間内、必要のある場合には資金の貸借を爲す

クレジットとは何か?

第二區 河内區、笠屋區、大屋區、冲原區、霧口區、金谷區、雜式町區、濁淵區、青海區、山田第一區、山田第二區、玉江浦第二區、倉江區、小原區、滯納者一名の爲完納に至らざるもの、濱崎町第一區、東木間區、西木間區、北木間區、藤ヶ瀬區

べしとの前約束をすること」と解釋しなければならぬものである。十一月廿日に英米兩國と一億圓のクレヂットを設定し翌二十一日には明年一月十一日に金輸出解禁を斷行する旨閣議で決定した、何故金解禁をするか、何故しなければならぬかの問題はさておき、吾國は何故英米兩國に借金の前約束をしたかにつき、クレヂット設定に至る迄の経路を簡単に次に記さう。

此度のクレヂット設定は設定其ものが主たる目的ではなくて英米兩國金融業者の精神的援助を得るのが目的であつた様に考へられる。

現在吾國の正貨準備は十億圓在外正貨は三億圓もあり貿易外の受取勘定も相當多額に上つてゐるけれども共過去數年間の入超による對外債務は少なからぬ額に上り、既に本年度も十一月迄に約八千萬圓許りの入超になつてゐる現状から考へても金の輸出解禁の結果相當巨額の正貨が支拂の爲流出する虞れがあり之を防止する一手段として英米兩國に對し五千萬圓宛合計一億圓の資金を英米兩市場にて借入れ對外支拂の用に供し得る様借入の前約束をなし萬一に備へ

たのである

然し目下の状況では此クレヂットを設定しなくてもよきさうな資金状態にあり或は此の約束も空になる様になるかも知れないが政府としては一つは内外の信用、安心を得る爲一方には萬一を慮つてのことであると思ふ。

クレヂット設定に至る迄のいきさつを大略述べて見ると政府自身がクレヂットを設定するには煩雜な立法手續が必要であり、日本銀行は日銀條例の命ずる所に依り其の設定が不可能である爲政府及日銀は協力して横濱正金銀行に命じ最初モルガン商會其の他の金融財團に對して當座借越契約を結ばしめんとしたのである。所が米國の金利が急に低下し十一月初め以來約半ヶ月間に七分より五分見當迄暴落した爲手数料其の他金利負擔の關係から見ても擔保借入金金の形式で一度に一億圓を借入れ之を借入先に預金の形式で預け入れて必要に應じ在外正貨と同じ様に輸入決済や正貨流出防止に使用せんとし、十一月半ば頃に紐育の津島財務官に交渉を始めしめたのであつた。此の際の擔保は預金部日銀正金所有の英貨

米貨公債時價約一億二千萬圓に相當するものを以て之に當てんとしたのである。

併し丁度不景氣知らずの米國にも十月末日財界に大變動が起り金利も割安となつたが爲此の交渉も米國の財界の小康と共に迅速に進捗し十六日に畧々此度の前約束の契約が成立したのである、此の間吾國と密接なる關係あり同時に過般の米國の財界動遙にも密接なる關係を有してゐる英國銀行國とも外債借換等の便宜上交渉が開始され結局十一月廿日正式に交渉が成立し調印が濟んだ譯である。契約の内容は各五千萬圓宛、利子英六分五厘、米五分五厘、期限一ヶ年契約書は正金銀行對英米の銀行團、擔保附且手数料附とし利子は使用しただけに支拂ふと云ふのである。

此の如く此の度のクレヂット設定は政府自身之を行はず變則的に正金銀行が矢表てに立つてゐて、且本當の信用でなくて擔保附信用であり借入金でもないのである。口の悪い者が變態的クレヂット或は擔保附クレヂットと云つてゐるのもその爲である。

かくて金解禁の扇は開かれた。産業も萎微沈滞より救はれるであらう。貿易及爲替は順調となり、物價は割安となり所謂國民經濟の立直しの實現さるるのも程遠いことではあるまい。國家社會の爲に慶賀にたない次第である。野球で云へば九回目終りにマーケットの波瀾、敵失と利下と云ふ思ひがけぬフイルダーチョイスにおまけに四球で押出しの一點を拾つて同點にこぎつけ尙無死満塁と云ふ形だ、次打者よ本壘打を放て、

萩商業學校 清水一良

◎納稅組合の提唱

萩稅務署 齋藤正義

十一月號本誌財政經濟欄納稅獎勵金交付高を見るに誠に結構であると謂ふ感想と一面特殊納稅組合の異常なる成績を見て切に納稅組合の必要を痛感した元來特殊組合中でも券番納稅組合であるとか遊興納稅組合などは其の多くが兎角成績が好くないのが普通一般の状態であるにも拘らず當萩に於ては他の追

從を許さぬ迄の好成绩を連續して居らるゝと云ふことは全く納税組合の御蔭であると思ふ然し是は表面の話で其の裏面には理事者の犠牲的精神に基く御骨折の賜であることは何人も見遁すことは出来まい納税組合の設置に就ては自分は本年七月着任以來非常に其の必要を感じ機會ある毎に優秀組合の狀況等を參考に是非共設置方を御勧めし一面町當局とも御協議を重ねて居るが今に其の機運に向はないで甚だ遺憾に思つて居る組合と謂へば直ぐ厄介である云ふ考を起される御方が大分ある様であるが是は既設の組合が餘り好成績を擧げていないのと組合員各位に於て組合なるものゝ理解が出来ていなかつた關係で自然斯くなつたものであると思はるゝので御無理はないと思ふのであります然し時代の要求により當然何日かは起るべき問題であることを相當説明すれば必ずや善意の理解も得らるべく左すれば左迄難事とも思はれない要するに善意の理解が出来て組合なるものを税金の分納機關である納期末日に一度に多額の金を捻出するものを毎日幾分宛納するご解釋が付けば後は樂なもの然かも分納した金は納期迄

預け入て置けば知らず知らずの間に幾分でも利子は付くとして納税を了した曉はどうであるかと謂ふと其の結果は兩組合の様に半期に於ても多額の奨励金が貰へると云ふことゝなり一舉にして兩得三得と云ふ棚ぼた式の結果となる不景氣には謂はず共是非共起らねばならない聲である自分には堅く信じて居る凡そ何事によらず事に爲さんとすれば必ずや其處には隠れた犠牲者が異常な努力を拂はねば出来るものでない愛町の念に燃ゆる多數各位の御猛省御聲援を得て諸種の集會等を利用して其の聲を大ならしめ其の機運の一日も速かならんことを切に希望して居る次第であります、終りに方法等に就ては多少參考になる他の優秀組合のものも蒐集して居りますから何時でも御利用を頂く様附け加へて置きます 終り

軍 事

●海軍航空兵採用

海軍に在りては昭和五年六月より左記要領を以て海軍航空兵を採用せらるゝことゝなりたるに依り志願の者は本年十二月十日より明年一月二十五日迄に其の旨當役場へ申出らるへし

記

一、主旨

航空機搭乗員の素質並素養を向上し尉官代用特務士官を養成するに在り

二、採用資格

採用の年の十二月に於て滿十五年以上十七年未滿（海軍兵より志願する者に在りては滿十九年未滿）にして高等小學校卒業若は之と同等以上の學力を有し將來海軍航空機搭乗員たらんことを志願する者に就き身体並適性検査及學術試験の上之に合格したる者の中より採用す

三、教育

(一)特別教育(豫科練習生)

横須賀海軍航空隊に於て三年間基礎教育を施し本教程終了後更に六ヶ月艦隊(又は在役)艦船に配乗せしめ海上の智識を修得せしむ

(二)航空術教育

特別教育終了後飛行(偵察)練習生を命し二年間霞ヶ浦及横須賀海軍航空隊に於て概ね現在の學生教程に準し航空術を修得せしむ

四、身上取扱

(一)採用と共に横須賀鎮守府在籍とし海軍四等航空兵を命す

(二)航空術教程を終了せる者は之を海軍三等航空兵曹に任し所要各部に配員す

(三)爾後の進級は本制度の主旨に鑑み又長期の教育を施す關係上其の學識徳操に於て一般他科の下士官に比し優るべきあるを以て一段早からしむ(素より各人の器量に依ること勿論なるも概ね初停年を以て進級せしめ得らるべきを豫期す)

五、召募

(一)採用員數其の他必要なる事項は毎年海軍大臣之を告達す(採用員數は年約九十名「標準」と豫想す)

(二)徵募方法は概ね海軍志願兵に準し之と同時に

期に採用す

但し(イ)採用豫定者の決定は各部の成績を全部集合し全體に就き調査の上定む
(ロ)採用豫定者は全部横須賀航空隊に入隊せしめ更に第二次身體及適性検査の上合格者を豫科練習生として採用す

●勤務演習召集

十二月一日より二十一日間野砲兵第五聯隊へ召集せられたる者左の如し

後備役陸軍砲兵 兵卒 五名

十二月三日より二十一日間騎兵第五聯隊へ召集せられたる者

豫備役陸軍騎兵 兵卒 二名

●海軍現役満期者

本年海軍現役満期に依り吳海兵團を退團し歸郷した

る者左の如し

- 十一月一日歸休 山田 一等兵曹 三村米穂
- 全 萩 全 田村留穂
- 全 椿東 三等兵曹 林 龜次
- 十一月三十日満期 全 一等水兵 楢本三吉
- 全 全 一等機關兵 末武仙吉
- 全 萩 全 岩野信一
- 全 全 全 吉田孝吉
- 全 椿東 一等看護兵 深野靜雄

●在郷將校叙位

陸軍歩兵大佐 有地藤太郎

特旨を以て正五位に叙せらる

全 砲兵中佐 藤井文介

全

全 工兵中佐 木川貞輔

全

全 全 井上省三

特旨を以て従五位に叙せらる

全輜重兵少佐 松浦 陽
特旨を以て正六位に叙せらる

●萩町公傷兵慰安會

十一月二十四日午前十時より萩町公會堂に於て萩町聯合分會主催を以て公傷兵の慰安會を開催せり出席者は刀根鶴松氏外十五名にして先づ市川聯合分會長の挨拶公傷兵總代伊藤猪之助氏の答辭ありて引續き簡粗なる午饗を供せり席上西南の役日清北清日露の戰役より歐州及西伯利亞等に於ける惡戰苦闘の狀況其の他往時に於ける壯烈悲惨なる懷舊談等湧くが如く眞に肉躍り血湧くの感あらしめ和樂歡笑時の過ぐるをも忘れ畢りに大日本帝國及萩町聯合分會の萬歳を唱へ午後三時解散せり
因に青島戰の攻撃に参加し名譽の負傷を爲したる越ヶ濱井町兼市氏は爾來創痍癒へず本年四月二十五日遂に死亡せり

●入營者宣誓式施行

本年十二月一日及十二月十日入營する者の爲十一月二十七日午前十時より縣社春日神社に於て宣誓式を施行し式後萩町役場に於て簡素なる壯行會を開催せり
因に入營者の住所氏名及入營部隊左の如し
十二月一日入營 步四二 幹部候補生

- 輜重一 全 椿 有田次郎
- 全 野砲二六 全 萩 尾寺新太郎
- 全 輜重五 輜重輪卒 萩 井町信男
- 全 萩 全 桑原吉五郎
- 全 萩 全 三隅一雄
- 全 全 山田 濱崎春一

十二月十日入營 步七九 步兵 山田 山根 正次

全 萩 柴田 孫一

全 椿東 佐々木 忠夫

全 椿 赤木 東一

全 山田 野村 熊市

全 越ヶ濱 上村 敏雄

全 廣中 清春

全 廣中 清春

萩町長 林 勇 輔

通信

●萩局電話通話區域擴張

十一月十六日逓信省告示第三千十四號を以て市外通話區域及普通通話料中左の通追加し昭和四年十一月二十一日より之を施行せらるゝ旨公布ありたり。
蘆屋(兵庫縣) 萩間 一通話時の普通々話料金一圓二十五錢

●萩郵便局昭和四年十一月

中事務取扱狀況 ▲印は減

種別	前年取扱數	本年取扱數	増減數
通常郵便物	引受 二六、五九二	二六、五三七	三、九四五
配達	二〇〇、七六一	二五三、〇六六	五二、二五五
小包郵便物	引受 二、二七二	二、二八四	一三
配達	三、六四二	四、〇一五	三七四

●萩町聯合分會顧問

帝國在郷軍人會に於ては今般左記三名に對し萩町聯合分會顧問を囑託せり

陸軍中將 福田 彦助
萩警察署長 向原 卯一

●十一月分萩郵便局行事

- 一、精神修養講話會開催
十一月十二日午前十時より河野萩中學校教諭の「社會的生活」と題する講話を又十一月三十日午前十時より中所囑託講師の修養講話を開催多數聴講せり
- 一、土井簡易保險局書記來局
保險事務取扱狀況調査の爲十一月十二日簡易保險局書記土井順次氏來局せり
- 一、宮川逓信屬來局
本年八月郵便規則改正後の實施狀況視察の爲本省郵務局宮川屬來局せり
- 一、保險課長來局
十一月管内保險特別大募集督勵の爲十一月二十六日來局附近三等郵便局長を招致し懇談せり
- 一、電話従事員事務講習會開催
廣島逓信局監督課沖永書記及山本技手十一月二十九日來局三十日十二月一日の二日間附近三等

電報	發信	中繼	爲替振出	爲替拂渡	貯金預入	貯金拂戻	保險契約申込	保險料徴收	年金契約申込	年金掛金徴收
金額	二、六三四	四、八八九	金額三〇、〇八七、九一〇	金額四八、一〇〇、四三〇	金額二〇、一七六、五〇〇	金額二四、〇九七、〇四九	金額一四三、二〇〇	金額五、三七、一〇〇	金額三、四一〇	金額一〇、二六〇
口數	二、二〇〇	二、〇八五	口數一、二八四	口數一、八八九	口數二、二三八	口數七四六	口數一八七	口數九、九九九	口數一	口數二
	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	二、三五四	四、〇〇五	一、三五四	二、二一五	二、六〇三	七九二	四四七	一一、〇七一	—	二二、九一〇
	二八〇	八二四	七〇	三五六	三七五	四、九七三、六一〇	二六〇	一、四九四、七四〇	—	二二、六五〇

半金

郵便局電話事務従事員十五名に對し毎日午前九時より執務上に關する講習會開催

土木交通

◎ 疏水の橋梁架設工事

堀内區内に於ける疏水の橋梁架設は十月上旬より橋脚の鐵筋コンクリート工に着手し爾後四十餘日を経過し材質も既に乾燥したるを以て十二月一日より杭打工事に取掛り年末迄には全部竣功する見込なり

◎ 土原道路改修

土原區内に於ける松本川堤防の町村道改修は十月一日着手以來順調に工事進捗し十二月下旬迄には竣功する見込なり

社會事象

◎ 公人及私人

廣島師範學校專攻科生徒五十名は史蹟見學の爲十一月一日來萩。

熊本逓信局猪間海事部長は港灣視察の爲、井上長周銀行頭取は新任樋口支配人紹介の爲何れも十一月六日町衙を訪問。

東京市本郷小學校大久保訓導は吉田松陰先生傳の編纂を了りたるにより松陰神社へ奉納の爲十一月七日町衙に町長を訪問。

井上海外興業株式會社社長は史蹟見學の爲十一月九日來萩。

島田山口縣男子部師範學校長は新任俵瑛の爲十一月十四日町衙に町長を訪問。

山形縣立自治講習所生三十一名は史蹟見學の爲十一月十四日來萩。

稻垣友枝氏は瓦斯會社設立の要件を帯び十一月十六日町衙に林町長を訪問。

山口師範學校專攻科生徒二十三名は小谷、館林兩教諭に引率せられ史蹟見學の爲十一月十九日來萩。

貴島大阪營林局長は史蹟見學の爲十一月十九日來萩
樺東區出身森重操氏は樺東小學校へ金品寄附の件に付十一月二十一日町衙に林町長を訪問。

大島郡安下庄中學校第三學年生以下百三十一名史蹟見學の爲十一月二十二日來萩。

伊藤鑛山監督局技手は十一月二十六日町衙に林町長を訪問。

河内區長田村清始氏は久しく癌症に罹り保養中の處十一月十六日午前一時十五分永眠行年四十三。

◎ 故田中男爵滿中陰

十一月十六日は故田中男爵薨去後四十九日の滿中陰に相當するを以て善堤寺なる椿町蓮正寺に於て午前十時より緣故者相集まり法會を營み又同日午後三時より北古萩町海潮寺に於て發昌寺主催の同法會を營めるに依り何れも林萩町長參席せり
因に椿町區内椿西小學校尋常科兒童四年生以上を以て組織せる兒童自治會に於ては故男爵薨去の命日二十九日を以て墓參を爲し墓所の清掃を行ふこととせり

◎ 友引に就て

守重 哲雄
近頃特に友引の日に葬式をしてはいけなさと云ふ民間信仰が盛んになつた爲其の前後日には葬式が一日

の間に二つも三つも重なり、寺院も會葬者も非常に混雑と迷惑を感じる、一體友引とは如何なるものなるか先づ其の起源等を研究する必要がある、古昔支那に於て諸葛孔明以來傳つたと云ふ一種の占法あり、名けて孔明六曜日と云ふ所謂六曜占と云ふが其れなのである

大安、留連、連喜、赤口、小吉、空亡
而して今より百二十年程前に三世相と云ふものが出来て、

泰安、留連、則吉、赤口、周吉、虛亡
と誤り傳へ、更に今日では

先勝、友引、先負、佛滅、大安、赤口

と云ふやうに名稱も順序も共に變はりた、乃て友引に葬式をしてはいけないと云ふのは恐らくは天保時代の後に起つた信仰で

死んだ者が友を引く
と云ふ文字上の類似から聯想した幼稚な信仰である
結果して斯うした事が確實性なれば假りに否な實際友引の日に葬式を行はれた家に最も親近な亡夫の未亡人或は亡父の子女等が何等異狀なく健在せる例は

幾つも認める
畢竟一種の迷信と云はねばならぬ、
兼好法師は云はれた

日に善惡なし、人に善惡あり、
吉日に惡を作せば凶日となり、
凶日に善を作せば吉日となる、

なんと公明正大な教訓ではないか、
涅槃經には
心の師となれ、心を師とする勿れ
と説く、

心こそ心迷はず心なれ
心に心心許るすな……だ

石平道人は確固不動の信念なき者は辻堂の如しと譬へられた是れ亦た實に其の通りで中心空虚なれば諸種の誘惑に囚はる、
世は昭和人は文化と誇る現代、學校では理智啓發迷信打破に努め、而も家庭及び社會では斯うした幼稚な信仰が盛んに行はるゝとは實に憐れむべきことである、
固より人間の心は獨り理智の働きばかりでなく、感

情の働きがある、然るに民間信仰の成立は理智に伴はざる幼稚な感情が根強く喰ひ込んで居る、
今や學校に於ては純情な青少年若くは青年男女は理智に裏付けられつゝ、感情の善化を享けることが出来る、之に反して中年老年の無教育階級への指導開發は社會教育家と吾曹宗教家と相俟つて教化總動員的に

正しく、明るい、廣い
人生の日常生活を辿り度いものである、本當の精神文化の民とならねばならぬ、
爰に本月報に寄せて、我が愛する町民大衆諸君に告ぐ

堀内區公會堂建築落成式

本町堀内區民は毛利公爵家所有地の一部を借受け公會堂建築中の處此の程竣工し十一月三日の佳辰を卜し午後五時より同公會堂内に於て落成式を舉行せり
林町長金子助役列席し馬來親交會長の開會の挨拶林町長の祝詞ありて後同會婦人部の斡旋に依り開宴全

九時閉會せり
因に敷地は百三十坪建坪三十八坪にして附屬建物湯殿等完備し建設費二千百餘圓は區民の寄附に成れるものなり

衛生

◎昭和四年一月以降死亡者埋火葬別

合 計	十一月 中		十 月		計
	男	女	男	女	
火 葬	二〇	二四	二二	二五	二四五
埋 葬	八	四四	九七	四七六	五二〇
合 計	二八	六八	一二九	七二一	七一九

●昭和四年一月以降傳染病患者數

病名	十月中發生數	十月迄發生數	計
腸チブス	一	二四	二四
赤痢	三	五四	五七
疫痢	一	二八	二八
チフテリア	二	六	八
猩紅熱	五	一四	一九
計			二四

人事

の所其の後上流地方の傳染病終息せるを以て十一月八日之を解禁せり。

●戸籍と身分關係 (其の十八)

親權及後見

親權とは父母が其の子に對する身上及財産に行ふに付權利を總稱す然れども父母は子を扶養教育又は監督するの義務を有すると同時に權利を有するものなれば親權者の有する權利は亦一面之を行ふべき義務を有するものと言はねばならぬ而して親權者の有する權利は自己の利益の爲にする權利にあらずして子の利益の爲に法律に於て附與せられた權利である即ち親權者が子を愛撫するは自然的人情の極美より流露する現象なれば其の子を撫育するに當つて之を強制するの權利なければならぬ之れ即ち法律に於て親權を設定するに至つた所以である。

後見とは無能力者を保護する方法にして無能力者

●萩町堀内病院入院患者數

一、十一月中入院患者數
 赤痢 三人
 計 三人 死亡者なし

●藍場川河水使用解禁

曩に傳染病豫防の必要上藍場川の河水使用を禁止中

の身體及財産を監督保護し及法律行為に付無能力者を代表する爲に能力者に負はしむる處の公務である而して後見も亦親權と同じく其の任務が無能力者の保護にあるを以て後見人の任務を行ふに關して有する處の權利は亦之を行ふべき義務を有するものである。

親權の意義は右に述べたるが如く民法第八百七十九條に親權を行ふ者は其の家にある父とし父が不明、死亡、去家又は權利行使不能のときは家にある母之を行ふ同一の親權は父母同時に之を行ふことは出來ない又繼父繼母若は嫡母も親權を行ふ而して之が權利を行使するに付ては後見に關する規定を準用すべきこととしてある(民法第八七八條)

後見の開始は未成年者の爲にする後見人と禁治産の爲にする後見人との二種がある未成年者の爲にする後見人は未成年者に對し親權を行ふ者なきとき又は親權を行ふ者が管理權を有せざるべきである而して親權を行ふ者が親權喪失の宣告を受けたるとき即ち民法第八百九十八條に依り親權濫用又は著しき不行跡の爲親權喪失の宣告ありたることも親權を行ふ者

なきを以て後見開始の原因となる又同法第八百九十七條に所謂親權を行ふ母が管理の失當に依つて其の子の財産を危くしたときは裁判所は子の親族又は檢事の請求により管理權の喪失を宣告することを得るを以て此の場合亦等しく後見開始の原因となる禁治産者は之を後見に附すときは民法第八條に規定してある未成年者と雖心神喪失の常況にあるものは亦禁治産の宣告をなすことが出来る此の場合には親權を行ふ父又は母に於て其の後見人となる。

以上親權並後見に關する規定をなしたるものにして無能力者に對する親權者又は後見人は無能力者を保護監督し其の他之を代表する資格を有するものなれば無能力者の身分上最も必要なるものにして以下届出に付ての條文を掲ぐれば左の通りである

一、戸籍法第七七條父が親權又は管理權の喪失の宣告を受けたる場合に於て母其の權利を行ふときは裁判確定の日より十日内に裁判の謄本を添付し其の旨を届出るのである其の届書には裁判確定の日を記載することを要す

二、戸籍法第八八條、同法第九十三條第一項の規定

は失權宣告取消の裁判が確定したる場合に之を準用す此の場合に於ては届書に裁判確定の日を記載することを要す

三、戸籍法第九條後見開始の届出は後見人其の就職の日より十日内に之を爲すのである、届書には左の事項を記載することを要す

(一) 後見人及被後見人の氏名、出生の年月日及本籍

(二) 被後見人が家族なるときは戸主の氏名及本籍

(三) 後見開始の原因及年月日

(四) 後見人就職の年月日

四、戸籍法第十條後見人更迭の場合に於ては後任者は就職の日より十日内に其の旨を届出するのである此の場合に於ては前條の規定を準用す

五、戸籍法第十一條遺言に依る後見人指定の場合に於ては指定に關する遺言の謄本を届書に添付することである後見人選任の場合に於ては選任を證する書面を届書に添付することを要す

六、戸籍法第十二條後見終了の届出は後見人より十日内に之を爲すことである届書には左の事項を

記載する事を要す

(一) 被後見人の氏名及本籍

(二) 後見終了の原因及年月日

七、戸籍法第十三條に依り前四條の届出は被後見人の本籍地又は後見人の所在地に之を爲すことを要す

八、戸籍法第十四條に依り後見人に關する本節の規定は保佐人に之を準用す

萩町の人口動態

十一月	中	婚姻	離婚	出生	死亡	死産
五三	六	八八	六八	六		
一月以降累計	五二二	七二	二〇三	九五二	三七	

十一月中寄留

出寄留者	男	女	計	一月中累計
四九	四七	九六	一、一九五	
入寄留者	二八	二二	五〇	六〇八

復歸者	三	二	五	一九
退去者	一	一	一	三七

昭和四年十一月中受刑者

萩町に本籍を有する者にして關係司法裁判所より受刑の通知を受けたる者左の如し

罪名	萩町に現住する者	萩町に現住せざる者	計	一月以前年の累計	前年一月以降の累計
賭博	五	一	五	二五	二二
詐欺	一	一	二	六	六
竊盗	一	二	三	二	二
機船底曳網漁業取締規則違反	五	一	五	四〇	二一
出版法違反	一	一	二	一	二
飲食物防腐劑取締規則違反	一	一	二	五	四
住居侵入竊盜	一	一	二	一	四
傷害	一	一	二	一	七
殺人	一	一	二	一	一

失火	一	一	二	一	一
阿片煙販賣	一	一	二	一	一
銃砲火藥取締違反	一	一	二	一	一
賣藥法違反	一	一	二	一	一
陸軍々人服役令施行規則違反	一	一	二	一	一
暴力行為等處罰違反	一	一	二	一	一
自動車取締令違反	一	一	二	一	一
古物商取締規則違反	一	一	二	一	一
議員選舉法違反	一	一	二	一	一
印紙税法違反	一	一	二	一	一
要塞地帶法違反	一	一	二	一	一
業務上過失致死	一	一	二	一	一
嬰幼兒殺	一	一	二	一	一
齒科醫法違反	一	一	二	一	一
贓物牙保	一	一	二	一	一
山口縣警察犯處罰令違反	一	一	二	一	一

按摩術營業取締規則違反	1	1	1	1	1
牛乳營業取締規則違反	1	1	1	1	1
郵便法違反	1	1	1	2	1
電信法並電氣事業法違反	1	1	1	1	1
公務執行妨害	1	1	1	1	1
計	14	4	18	134	105

昭和四年推計人口

内閣統計局に於て推計したる昭和四年十月一日現在
 全國道府縣市郡別人口は左表の如し。右は第一回國
 勢調査及大正十四年國勢調査の結果に據る人口に基
 き計算したるものなり(十一月十六日の官報に依り
 轉載)

全國	三、九八、二〇〇	男	三、六三、四〇〇	女	三、二五、八〇〇
山口縣	一、四〇、〇〇〇		五七、八〇〇		五〇、二〇〇
下關市	一〇四、〇〇〇		五四、三〇〇		四九、七〇〇

宇部市	五、八〇〇	三〇、七〇〇	二七、一〇〇
山口市	三、七〇〇	一八、七〇〇	一五、〇〇〇
大島郡	五、四〇〇	二八、五〇〇	二九、九〇〇
玖珂郡	一四、九〇〇	七三、三〇〇	七〇、六〇〇
熊毛郡	七、五〇〇	三九、八〇〇	三九、七〇〇
都濃郡	一〇、三〇〇	四一、五〇〇	五一、八〇〇
佐波郡	八、五〇〇	四一、八〇〇	四一、七〇〇
吉敷郡	六、六〇〇	三九、一〇〇	三九、七〇〇
厚狹郡	七、二〇〇	三六、六〇〇	三五、六〇〇
豊浦郡	一三、九〇〇	六二、五〇〇	六〇、四〇〇
美禰郡	四、七〇〇	二一、一〇〇	二〇、六〇〇
大津郡	五、九〇〇	二五、二〇〇	二五、七〇〇
阿武郡	一〇、六〇〇	五三、七〇〇	五三、九〇〇

失踪に關する届出の催告

本籍及最後の住所萩町大字古萩町第百五番地
 不在者 田中 周 三十一
 明治二十七年五月五日生
 不在者 田中 能 健
 明治三十三年六月四日生

十一月中萩町日誌

(本月報登載外のもの)

- 一日 林町長は家事要件の爲歸郷中の處本日歸廳
 三日 午前八時半より吏員一同の明治節拜賀式を
 町衙樓上に於て舉行。
- 四日 本日より十日迄町衙に於て阿武大津兩郡町
 村稅事務に付本縣監督官廳の集合監査を執行
 せらる。
- 五日 鶴江神社例祭に付藤本書記代參。
- 五日 白水小學校々舎に關し山田區選出議員町長
 と會談。
- 六日 萩稅務署に於て本日より二日間秋季稅務主
 任者協議會開催に付村田書記出席。
 椿東小學校々舎に關し椿東小學校後援會顧問
 厚東毅一氏外五名林町長と會談。
- 七日 長添山官祭招魂社例祭に付金子助役參向。
- 十二日 製絲事業に關する協議會を町衙樓上に開催
 賀田以武氏外七名出席。
- 十三日 本郡奈古小學校に於て町村學務主任集會開

雜事

右不在者に對し利害關係人同所田中ナツより失踪宣
 告の申立を爲したるに付不在者は昭和五年六月二十
 六日午前九時迄に萩區裁判所に生存の届出を爲すへ
 く若し其の届出を爲さざるときは失踪を宣告すへし
 又不在者の生死を知る者は右期日迄に其の届出を爲
 すへき旨十一月五日官報により萩區裁判所名を以て
 公示せられたり。

感謝

◎縣立萩高等女學校秋季運動會開催の際同校同窓會
 の催しにかゝるバザー賣揚利益金十四圓七十四錢を
 萩町窮民救助費の内に寄附せられたり其の厚意を感
 謝す。

◎本月號第二十號に登載しある萩町國光會設立の趣
 意に賛同せられたる某氏より會費として使用すへし
 とて金拾圓を寄贈せらる茲に其の厚意を感謝す。

催に付秋田課長列席。

十四日 製絲事業に關する協議會を町衙樓上に開催
林隆太郎氏外十二名列席。

十五日 金谷神社例祭に付林町長參向。

十七日 午前十時より唐樋町高大亭に於て阿武郡是
製絲會社創立協議會開催に付林町長出席。

十八日 町會樓上に於て萩町菓子同業組合員の健康
診斷を行ふ。
本日より十二月十日までトラホームの檢診を
開始す。

二十日 午後四時より執務刷新のことに關し課長會
議開催。

二十一日 縣社松陰神社例祭に付知事代理として林
町長參向。

二十三日 縣社松陰神社新嘗祭執行につき金子助役
參向。

二十五日 縣社椿八幡宮並縣社春日神社新嘗祭執行
に付何れも金子助役參向。

二十六日 縣社志都岐山神社新嘗祭執行に付林町長
參向。

町衙に於て製絲事業協議會開催、林安次郎氏
外五名出席。

二十七日 郷社住吉神社新嘗祭執行に付金子助役參
向。

田村河内區長死去に付町長代理として阿武庶
務課長會葬。

二十八日 越ヶ濱上水道流水區域測量本日を以て終
了。

二十九日 町會樓上に於て成人講座に關する協議會
開催。

三十日 町衙に於て田中男爵葬儀に關する決算報告
を爲す。

● 昨年の今月今日

一日 町衙に於て昭和三年度萩町陪審員候補者六
十名の抽籤を行ふ。

三日 明治節遙拜式舉行。
鶴江神社例祭に付町長代理として岡田書記參
向。

五日 大井村小學校に於て戸籍事務協議會開催に
付多田書記出張

六日 大津郡三隅村村田清風先生禮拜鎮座式舉行
に付林町長參列。

七日 長添山官祭招魂社例祭に付町長代理として
藤本書記參向。

島谷汽船大成丸初めて入港す。

十日 京都皇宮に於て御即位の大禮を行はせらる
町會を招集し賀表を議決し直に宮内大臣に宛
發送す。

町公會堂に於て八十歳以上の高齢者二百八十
五名に對し天盃并酒肴料の奉授式を舉行す。

午後二時三十分より明倫小學校に於て御大禮
遙拜式舉行、式後林町長は町内各縣社に參拜

十一日 本日より町公會堂に於て御大禮奉祝副業品
展覽會を開催。

十二日 町内各學校生徒兒童の奉祝旗行列を行ふ。
明倫小學校々庭に於て在郷軍人會の奉祝大會
を行ふ。

十三日 明倫小學校講堂に於て萩町聯合青年團並處

女會の奉祝大會を開催。

御大禮奉祝副業品展覽會褒賞授與式を舉行す
十四日 今夕より翌朝に亘り大嘗祭を行はせらる。
午後七時半より御大禮奉祝提灯行列を行ふ。
本日より町内各區に於ける奉祝餘興の引受を
爲す。

十五日 町公會堂に於て御大禮奉祝々賀會開催會員
數千二百餘名に達す。

十六日 地方饗饌を賜はるに付本町衙より町長以下
四名出山す。

十七日 町公會堂に於て町吏員一同の慰安會を開催
す。

十九日 木間若宮神社一千五百二十五年祭執行に付
町長代理として時山書記參向。

二十一日 松陰神社例祭に付町長參向。

二十三日 學務委員會及び都市計劃委員會開催。

二十四日 春日神社に於て入營兵宣誓式舉行町長列
席。

二十七日 第十四回町會開催。

二十九日 幹部候補生八名夫々入營地に向け出發。

御親閲を受くる在郷軍人分會代表者十一名出發上京の途に就く。
右一行中の武居聯合分會長に託し御大禮献上品萩焼花瓶壹對を發送す。
三十日 滿期兵歸郷、主事以下係員各驛に出迎ふ。

◎新年祝賀互禮會開催に就て

來る昭和五年一月一日恒例に依り年始の回禮を廢し左記要項に依り新年祝賀互禮會を開催します恰も公私經濟緊縮のことに鑑み各戸洩れなく御入會を希望致します

一、日時 昭和五年一月一日午前十一時
一、會場及參會者區域

- 萩町公會堂 萩區一圓
- 椿東小學校 椿東區一圓(後小畑は越ヶ濱小學校へ)
- 越ヶ濱小學校 越ヶ濱全區一圓
- 椿西小學校 椿區一圓
- 白水小學校 山田區一圓(本間を除く)

木間小學校 木間區一圓
◎互禮會員の氏名は萩町全体を一表として印刷し各會員に配布の筈

一、申込期日 十二月二十五日限關係區長役場へ申込まれたし
一、會 費 一人金參拾錢

出席希望の方は右申込期日前迄に關係區長役場へ申込みと同時に支拂はれたし
一、各官衙學校團體等に在りては希望者を取纏め期日前に會費を添へ町役場庶務課に申込まれたし



◎納税のすゝめ

本月は定時に徴収する税金としてはありませんが最近に於て新築又は改築を爲したるものゝ家屋及賣買登記を爲したる土地等に對する不動産取得税並本年四月一日現在賦課したる以後萩町に於て一戸を構へ又は獨立の生計を營むに至りたる者に對する隨時の特別税戸數割を徴收致します其の納税者は少數でありますから毎月の様に出張徴收は致しません尙其納期日は十二月廿六日限でありますから御忘れなく納期日内に完納して下さい

昭和四年十二月

萩町 稅務課

◎敢て町産業技術員の御利用を望む

萩町の産業を増進する爲町の專屬技術員として普通農事一人果樹園藝一人林業一人水産業一人養蠶業一人の外に嘱託技術員として普通農事一人を置いております是等の人達は全く机上の仕事をする者では無く町内當事者各位の奉仕せらるゝ夫々の事業に就き實地の指導を爲すことを以て本體として居るものであり皆様が之を御利用下さいればこそ萩町の生産業を進歩發達せしめ得るのでありますから今後は御遠慮なく關係の區長役場を経て其の旨をお申出下さい勿論町當局としては出來得る限り御希望に副はしむる様致します敢て御利用を望む
尙ほ右技術員の人達が町内を巡回の際皆さんの田畑園地其他林野等の施設振りにつき氣付きたる事項あるときは約業書大の厚紙に其の要旨を認め看易き所に之を掲げ置き御注意を促すことゝ致しておりますから右様御承知置きを願ひます

萩町 勸業課

公 告

萩町で奉仕してゐる庶般事務の概況を廣く皆
さんにお傳へ致しそしてより良く萩町の現勢
を理解して戴き町將來の福利増進に資せむが
爲毎月一回此の月報を發行することゝしたの
であります又毎號共區長役場の方から皆さん
のお宅へ回覽の取扱ひをされますから其の際
は萩町の爲進むで御精覽の上成るべく早くお
隣りへ御廻しを願ひます
尙ほ印刷實費一ヶ年分金貳圓拾六錢を御納め
になれば別に此の月報をお配りすることゝし
ておりますから其の旨を萩町役場又は區長役
場まで御申出下さいませ

萩町庶務課

昭和四年十二月十三日印刷
昭和四年十二月十五日發行

編輯兼發行者 萩町長

林

勇

輔

山口縣阿武郡萩町大字西田町五十五番地

印刷者

荒瀬

徳治

山口縣阿武郡萩町大字西田町五十五番地

印刷所

信清舎印刷所